(明治卅九年九月十八日第三種郵便物認可)　大正五年二月十八日　THE KEIJO NIPPO　第三千三十四號（一）

京城日報

十八日夕刊

定價　本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾錢 三ヶ月金壹圓七拾五錢 六ヶ月金三圓四拾錢 一ヶ年金六圓七拾錢
廣告料　五號活字一行金壹圓 [illegible]

發行兼編輯人　奥田道毅
印刷人　登口政太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話 [illegible]　振替貯金口座京城二〇〇番

總督訓諭　學務主任會同に於て

寺内總督は十四日より開催せる各道學務主任會同第三日の席上に於て一同に對し懇切なる訓諭を爲せり其要領左の如し

併合以來年を閲すること五星霜官民一致の努力により諸般の事業漸く進歩の跡を示せりと雖之を擬に開催せし記念共進會の實績に徴するに尙ほ大に努力を要するもの尠からず教育の事業に於ても亦然りとす本年一月本總督の發せし諭告は既往に鑑み將來の方針を示せるものなれば諸子は須らく之を熟讀玩味し一層奮勵して其の趣旨を擴充するに努力せむことを要す

本年一月訓令第二號を以つて發布したる教員心得は教育に關して從來屢々法令訓諭等を以て示せる事項中特に教員たるもの丶日常遵由すべき條項を列擧し其の實行に便したるものにして必しも新規なる事項を說述せるにあらず又教育の本義は教育に關する　勅語に依るべきは言を俟たざる所なるも教員をして常に該心得を服膺せしめ以て實際生徒の教養に當らしむるは極めて有效の事なるべしと信ず諸子亦自ら能く之に留意し指導宜しきを得て教授訓育共に其の方法を誤らざらしめ以て教育の目的を貫徹せしめむことを要す

學校に於ては最も力を質素勤勉の氣風の養成に用ゐ生徒教育の方針は勿論其の設備も亦此の趣旨に依るを忘るべからず抑併合の當初に在ては學校設備の如き極めて不完全の狀態に滿足するの覺悟なりき然るに近時諸事漸く整頓の緒に就くに從ひ完きを求むるの餘り動もすれば華美贅澤に流れむとするの傾向なきにあらず之れ最も誡愼を要すべき所とす將來國富增し財力餘あるに至らば豐富なる教育費の支出を見ることあらむも現時に在りては須らく困苦缺乏に堪へ適當の施設をなすの決心なかるべからず例へば運動設備の如きは農園に於ける作業其の他質實簡單なる方法により充分其の目的を達し得べきに拘らず徒らに之が完全を求め器具の多きを望み好みて外國の風をさへ模倣せむとするものあるは全く當初の意志に反するものと謂ふべし忠實勤勉にして品位ある國民を養成するは目下の急務にして之が第一歩は學校生徒の教養に在るを忘るべからず序に學校設備につき附言すべきは徒らに簿冊を多くし事務を繁雜ならしむるを避くべきこと是なり朝鮮に於ける學校は其の規模大なるもの極めて稀なれば出來得る限り事務の簡捷を圖るは教育行政の實務に當れる諸子の最も留意すべきことに屬す

諸子は地方官吏中直接に教員の指導監督に任するのみならず內地に於て類例を見ざる所の各種私立學校を指導監督するの實務をも負ふ諸子の任務の重大なること諸常一樣にあらず諸子は一般官吏として官吏服務規律並に官吏服務心得の精神を服膺して其の職務に奮勵すべきは勿論一面教員の直接指導者たるに鑑み進次師範にも其の言行を愼み自己の修養を怠ることなく清廉身を持し彼監督者をして自ら提撕せしめ以て能く其の本務を完うせむことを期すべし

◎雲貴軍は交戰團體

南支那に於ける事態益々擴大するより英國政府は現狀を觀望し雲貴軍を交戰團體と認め在支邦人保護の行動に出す可き [illegible]（東京電報）

◎白國の爲に戰はん　露、英、佛三箇國の決心

露、英、佛三國は白耳義政府に對し正式に左の如く通牒したり曰く聯合國は今後媾和の時期に達して講和會議開催せらるゝ時は白耳義を之れに參加せしむべく努力すべく而して白耳義が政治上經濟上の獨立を恢復し今日迄に被りたる損害を充分に補はるゝ迄は斷じて干戈を收めざるべしと（倫敦電報）

◎我代表者も參加す

ハーヴル來電に曰く伊國公使及び日本の代表者は白耳義の政治及び經濟的獨立を恢復し充分なる賠償金にして支拂はれざる間は戰爭は中止せず且つ協商國は白耳義の商業及び財政の獨立を恢復することを助くべしとの露國公使が協商三國を代表して白耳義外務大臣に與へたる宣言に參加せり（倫敦電報）

◎土軍退却に窮す

高加索方面に於ける露軍は十五日エルゼルム要塞中九個の砲壘を占領したりオルツ元帥の率ゆる四箇軍團の土軍は道路不完全の爲退却に困難を感じつゝあるが如し（紐育電報）

◎土軍十萬を捕虜とす　エルゼルム戰に於ける露軍の鹵獲

露都來電に依れば露軍はエルゼルムを陷入れたる際土軍十萬を捕虜とし大砲一千餘門を鹵獲したり（紐育電報）

◎露軍エルゼルム占領

倫敦來電に依れば露軍は亞細亞土耳古のエルゼルムを占領したり（紐育電報）

◎露軍エル市占領影響

露軍のエルゼルム占領は歡喜を以て迎へられアルメニヤに於ける土軍の抵抗を挫折せしめ得ると同時にメソポタミヤ及び波斯の占領等に精神的に絶好の影響を與ふるならんと（倫敦電報）

◎獨通牒と米政府

倫敦來電に據れば米國政府は獨逸の武裝商船擊沈の通牒に對し反對意見を表明す可しと（東京電報）

◎笠置上海急航

帝國軍艦笠置艦は十七日午前十一時關門海峽を通過し上海に急航せり（門司電報）

◎條約改訂と訓令

日本政府は日露協約の滿洲隘過問題に關する條約改訂に就き駐露本野大使に訓令する所ありたり（東京電報）

◎恩赦浴典者數

今回發表されたる恩赦は死刑囚十三名の外四萬三千七百十四名なりと（東京電報）

◎六三案通過か

六三聯絡案に對する各派の態度略決定せるを以て下院を通過すべしと傳へらる（東京電報）

◎若見侍從武官

十七日夕京城に宿泊せし [illegible] 十八日午前十時四十分 [illegible] 急行列車にて大邱に向へり（釜山電報）

◎土木主任會同

土木局出張所長及び各道土木主任官會同は二十一日より五日間總督府會議室に開催に決せり其日程左の如し

二十一日　午前訓示、午後同上
二十二日　午前狀況報告、午後同上
二十三日　午前諮問事項答申、午後同上
二十四日　午前指示訓示、午後事務打合
二十五日　午前事務打合、午後同上

而して開會時間は毎日午前九時三十分、散會時間は午後三時にして會議は持地土木局長之を統裁する筈なり

◎定例長官會議

十八日は定例長官會議日なるより寺内總督以下各部長官局長等は午前十時より總督府第一會議室に參集し通常政務に就き協議打合せの上正午散會す

◎聯絡會議下打合開催

日滿、日支聯絡會議下打合せの爲め鐵道局を代表して東上したる安藤參事は十七日著京、十八日より鐵道院にて協議開催すと

北鮮行途上　孤村生

[illegible]

平壤

▲野生柳の利用　平安南道廳の調査によれば同道內産の野生柳は各郡に之れを見一年約七千束其の價格約四百圓內外にて多く燃料に用ゐらるゝ模樣なるも亦行李籠等を農家に於て製作し之れ [illegible]

▲寄附勸誘方針　平壤公會堂の寄附金募集は其筋の認可あり次第常任委員等に於て着手すべきが大體學校組合戶別割年額十圓以上を納付する人に對し勸誘を試みる由にて官吏は五級俸以上一般民間及下層には [illegible]

▲三浦副官出張　三浦憲兵隊副官は二十日頃より往復二十日の豫定にて陽德孟山郡方面の巡視並に成南の一部に旅行すべしと

木浦

▲商議總會　當會議所に於ては十五日議員總會を開き會議所及び所員表彰牛皮干鰯檢査廢止の件及び大正五年度新組織以降に於ける經費賦課徵收方法並に四年度中經費豫定に關する諸件を附議したり

淸州

▲道郡參事諮問會　忠北道廳會議室にて十七、十八の兩日道郡參事會議を開催したり

▲金融組合長會議　金融組合長を兼ねたる道郡參事會議列席の爲め來淸したるを機とし十九日道廳會議室に金融組合長會議を開催す

▲中村檢事長來淸　京城覆審法院檢事長中村竹藏氏は司法事務視察のため十七日正午來淸本町淸州館に投宿す

大邱

▲慶北各郡穀價　慶北道各郡を通じて穀價依然として軟弱を唱へ價格も當初の騰貴に比し一般に下落せる狀況を示し居れり

<table>
<tr><th>郡別</th><th>玄米（一石）</th><th>籾（一石）</th><th>大豆（一石）</th></tr>
<tr><td>安東</td><td>一〇、一四</td><td>—</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>尙州</td><td>九、九九</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>倭館</td><td>一〇、〇〇</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>慶山</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>[illegible]</td><td>九、〇〇</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>[illegible]</td><td>一三、〇〇</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>[illegible]</td><td>一〇、三二</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>[illegible]</td><td>一〇、〇〇</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>[illegible]</td><td>九、〇〇</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>[illegible]</td><td>—</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>[illegible]</td><td>九、八〇</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>[illegible]</td><td>九、五三</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>[illegible]</td><td>九、八〇</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
<tr><td>[illegible]</td><td>一一、一〇</td><td>[illegible]</td><td>[illegible]</td></tr>
</table>

[illegible] として一般の荷動き少く要するに內地各方面の停滯に伴ひ大邱附近の廣米も荷動き無く從つて大邱の穀物商は [illegible] 移動少く市況不振の狀態に在るが歲末に際し納稅及び決濟資金等の需用を喚起し穀物の出廻り增進せしめ却つて郡部の或方面は比較的商値を呼びつゝあり唯だ大豆は相當に荷動きある爲め價格も一般に好調を示し居れり

漆谷

▲篤行者事績　漆谷郡倭館面錦山洞長李相會氏は從來公共事業及慈善事業に熱心貢獻し明治三十九年元漆谷郡廳より洞長として同洞貧民に對する稅金十五錢を負擔し爾來四十三年錦山洞長に再任し洞民より徵收すべき給料一戶當籾一斗麥一斗合計五斗の報酬を受けず尙ほ本年より洞長となり洞內事務に熱心し貧民八十戶に對する第二期戶稅中八十二錢を負擔し自己私金を以て納入完納したる篤行稀なる洞長なるを以て賞狀規程に依り漆谷郡より褒狀を授與すべきものとして近く其の篤行に對し表彰せらるべし

▲倭館組合管理者更迭　漆谷郡倭館學校組合管理者森堅吉氏は家事の都合により辭任し松原米吉氏是が後任に指令さる

釜山

▲勸業事務打合會　二月十一日より二日間釜山府廳樓上に於て金海、梁山、昌原、密陽、東萊の各郡守及び釜山府尹並に各府郡庶務主任書記賓業等會合勸業事務打合會を開く由

▲農事講習會開會　釜山府にては十七日午前十時より五日間府廳樓上に於て短期農事講習會を開く出席者四十五名講師は石井慶南道廳技師、西同技師、淺岡同技術員外一名なり

晉州より　大塊

自動車の身は箱詰の春野哉　自動車の病ま春野の醫者騷ぎ　御迎ひと春野の汽笛神の聲
□佐々木長官之狂歌　大塊に自動車少しきずつひて地元店屋は傾むと閉口

▲京畿大學校長任命　米人ライナー氏は今般平壤崇實大學校長に任命せられたるが不日任地に向け出發の筈

▲地方費補助申請　大邱郡蘇教附屬普通學校の地方費の補助申請中

▲大邱果樹組合　大邱果樹組合にては二十一日午後一時を期し府廳內に於て總會を開き害蟲驅除に關し協議を爲すべく慶北道廳よりは技術員臨席し講話を爲すべしと

▲兩郡提出あり　大邱郡及達城郡は代金の徵收を了し十七日附を以て揷込の報告前兩郡守より慶北道廳へ提出ありたり

浚渫後の木浦港

木浦港が朝鮮に於ける良港なることは普く人の知る所なるが其の港內に果して如何なる程度迄の汽船を入港碇繫せしめ得るやは未だ疑問の裡に置かれ唯一昨大正三年三月二十六日英國汽船スルガー號（八千噸）が鐵道材料を積載し水先案內をも俟たず極めて安全に入港し來れるを以て最高レコードとするに過ぎざりしが現に浚渫工事監督技手の調査に依れば港內錨地面積約四十五萬五千四百坪水深九尋三五噸以上に對して水深よりすれば優に一萬五千噸以上に對しても十分なれど港內曲線の急なる關係あり尠々一萬五千噸までならば優に出入し得べしと云ふ

▲兩品の檢査廢止　當會議所に於ては去る明治三十九年六月より牛皮檢查を又大正三年六月より干鰯の檢查を開始し來れるが昨今に及び干鰯の出廻り甚だしく減少し牛皮は價値上り容易に其の效果の見るべきもの無く檢査廢止の必要なきも商議所の職務としては檢査するの要あるを以て地方に於ける兩品共に取引地たるの價値あるものなれど寧ろ經濟の關係もあるのみならず本年四月一日より廢止する事に協議總會に於て決議したり

▲桑苗代金徵收

既報の如く慶北道各郡に於ける記念桑樹栽植は當局の獎勵に依り着々其の歩を進めつゝあるが二月十五日を以て完納すべき桑苗購入代金は目下各郡に於て之が完納を急ぎ既に永川尙州の兩郡は該代金の徵收を了し十七日附を以て揷込の報告前兩郡守より慶北道廳へ提出ありたり

榮川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
永川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
醴泉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金泉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
義城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安東	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
星州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
尙州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲貨車連結出願　朝鮮瓦斯電氣會社にては釜山東萊間の電車に貨車連結すべく其筋に出願せり

▲久納尾島兩記者送別會　釜山日報主幹たりし久納重吉氏は朝鮮民報に轉じ尾島靜雄氏は烏致院支局に轉任せらるゝに付き當地記者團及び俳句會聯合にて十九日守谷樓上に送別會を開催す

人事消息

▲小泉昇平氏（山林課技師）保安林調査監督の爲め二十一日より京城府及び高陽、楊州郡管內へ出張の筈

▲島峰澤吉氏（土木局技師）橋梁暗渠工事設計に關し十五日論山へ

▲川崎繁太郎氏（鑛務課技師）鑛床調査の爲め十七日より忠南管內へ出張せり

▲中村竹藏氏（京城覆審法院檢事長）管內事務視察の爲め二十三日より忠淸道へ出張

▲三浦彌五郎氏（駐米大使館一等書記官）十七日夕德壽丸にて內地へ

▲廣田釜山中學校長　學校長會議の爲め入京中の處十八日夜歸任

▲平野顯吉氏（新任淸州分監長）十九日午前南大門發列車にて任地へ

▲淸津地方法院檢事　入京中の處十八日朝京城發元山へ

香南雪北

今年の夏は氷が高からうイヤ拂底するのだらうと早くから無用の心配をして居る連中がないとも限らぬ▲が先づ大丈夫安東縣からの通信を見ると昨今鴨綠江氷の大註文は頗る素敵であつて十五日などは▲京城へ二百噸、龍山へ二百噸、水原へ百噸、仁川へ四百噸、木浦二百噸と一千百噸に達したがまだ〱大分あり相な▲處がしたがまだ一週間もすれば最う採れないと云ふから今の間にウンと注文して置くが好い▲全南木浦港は既にから良港との事は知られて居たが實の處未だ何噸級迄の汽船が入港する事が出來るか分らなかつた▲先づコードとしては大正三年の三月に八千噸の米國汽船スルガー號が入港した丈けである▲處が今度調査して見ると水深よりすると一萬五千噸以上の汽船でも優に出入が出來る▲而し港內の曲線が急な關係から先づ一萬五千噸級迄は大丈夫安全に出入し得ると木浦の人は得意になつて居る▲紛糾を重ねて居た大邱銀行は表面は納まつた樣なが何うしてきた〱却々重役間には角突き合せで今度は李英勉氏一派から頭取の鄭在學氏の排斥運動が始つて居るらしい▲結局鄭頭取の辭職になるだらうとは困つたものだ銀行內で迄勢力爭ひをやつては關係者が迷惑千萬早く何うにか片が付き相なものだ▲氣候の關係からか京城には此の頃お多福風が流行り始めたらしい▲大邱などでは風の神の大荒れで可愛想に小學校には五十名も缺席見當があると云ふ▲京城迄でも何時風の神が荒れるかも知れぬから一般に大に注意せよ

鄭三峰　贈石老人

時○窮○漫○被○呼○番○腹○末○路○有○誰○賛○元○龍○國○建○都○百○年○業○無○人○復○說○鄭○三○峰○

公告

◉京城府中林洞參百參拾貳番地
建坪拾五坪 外ニ附屬建物
右不動産所有者　[illegible]

最低競賣價額金參百拾貳圓也

右競賣期日ハ大正五年貳月貳拾貳日午前拾時

◉京城府 [illegible]
木造瓦葺平家建 壹棟
建坪八坪五合九勺
附屬木造草葺平家建 壹棟
建坪九坪八合九勺
最低競賣價額金四拾八圓也
右不動産所有者 中立人 梁任文秀成

◉京城府堅志洞五拾四番地
木造瓦葺二階建 壹棟
建坪拾五坪八合六勺
外二階坪八坪五合
最低競賣價額金壹百六拾六圓也
右不動産所有者 京城府東京建物株式會社
村上秀九

◉高陽郡延禧面大峴里五統十戶一四
三番地
木造草葺住宅壹棟
建坪拾壹坪七合壹勺
最低競賣價額金參拾四圓七拾錢也
右不動産所有者 中立人 金丁相勉 俊

左記ノ不動産ヲ競賣ス
一、附ス競賣保證金ハ申出額ノ十分ノ一

京城地方法院

滿蒙處分論　定價金一圓　郵稅各六錢
發行クロパトキン將軍原著　日本大外交ぬ高橋譯
發賣所 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇

京城學校組合告示第五號
一京城學校組合兒童用机參百拾六脚
一同腰掛七百五拾貳脚
此入札保證金各自見積價格百分ノ十以上
右入札者ハ滿二箇年以上京城學校組合區域內ニ於テ從事シ現ニ府稅又ハ當學校組合費年額三拾圓以上ヲ納ムル者ニ限ル
國稅、契約書ハ當學校組合ニ就キ入請負心得、仕樣書及見本等熟覽ノ上來ル二月十九日午前十一時限リ當組合ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ京城府尹金谷充之ヲ擔任ス
大正五年二月十七日
京城學校組合

既に社會に定評ある
スワン萬年ペン
は我國に於ける第一位
●粗惡的類似品あり商標に御注意

朝米
致富之寶無代進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
㊣ 橋本猶作
振替口座大阪二四一七一
電話長北 四四八 五五〇九

醇良淸酒
仁川本町四丁目
吉金酒店
電話七六四番

□戰鬪偵察飛行 十五日午後一時卅五分廿六號機に伊庭中尉搭乘鐵嶺に向つて奉天練兵場を發す ― 大飛行諜報第四、勝村特派員撮影

●飛行隊の主力は朝鮮に常置

耐寒長距離飛行の効果

飛行班長 曾田工兵大佐の談

耐寒飛行の結果はまだ研究中である故に具體的に斯くの如き場合に對する設備は斯の如くせざる可からずと云ふ樣な事は話されないが要するに極寒地方飛行に就て我からす機械及び搭乘者の防寒

■設備の改良

を爲なければ爲らぬ事は有る希望として其一例を擧ぐればハンドルの中へはスチームを通して操縦手の指を凍へざらしむる搭乘者の椅子には電氣座布團を敷きガスリンタンクは寒氣を通さぬ魔法瓶の如うた物にしたならば暑熱に對しては影響を蒙らなくて可からうと思はれる搭乘者の服裝は裏毛の胴着さへ用ふればよいがモビール(機械油)の氷結を防止するは大分工風を要する事で有らうと思はれる大陸殊に奉天附近の飛行は內地と異り非常に飛行地に適して居ると云ふのは內地などで飛行を爲すには萬一機に故障を生じた時に空中滑走をしながら適當の著陸地を發見しなければならぬから常に千米突位の高度を保つて居らなければ危險で有るが滿洲の如きは

■著陸地選定

に苦心する樣な事は無い到る處に著陸し得るから二三百米突の高度で長距離飛行をする事が能き從つて寒氣に對しても幾分凌ぎ易く且偵察等にも至極便利である其の上氣流は內地の如き險惡のものではなく風速強き時に於ても氣流は極めて平穩のやうであるから內地に於て惡氣流と戰つて居るよりも寧ろ大陸で盛んに飛行を行ふ方が宜からうと思ふ自分一個人の考へとしては將來我飛行機を用ふるの處は大陸と見なければ爲らぬ故に其の飛行の主力は大陸に置く方が至極便利ではあるまいかと思ふ、それには朝鮮がいゝ、又滿洲の獨立守備隊へ

■飛行隊新設

するのも好からうと思ふさうすれば廣々とした氣流の穩やかな著陸地が幾何でもある處で練習する事が能きる、これは自分一個人としての考へである。耐寒長距離飛行も充分の成績を收めた。故に我飛行機及び飛行隊が此の寒氣に耐へ得られると云ふ事は證明せられたわけである(十六日奉天、勝村特派員發)

●刹那、衆愁眉を開く

機影現れたり=岡大尉無事

十六日の戰鬪偵察飛行詳報

十六日。天氣は晴朗だ。風は東、寒さは強い。今日は飛行班は鐵嶺よりの進軍に對する

▲戰鬪偵察を行ふ

昨夜深更に飛行班長曾田大佐から次の命令が下つた。

(一)鐵嶺附近の敵は今朝來活氣を呈し南進を企圖せるもの丶如し我軍は未だ北進の時機に達せず

(二)弘中少佐はモ式二十六號に搭乘し伊庭中尉の操縦を以て明十六日午前九時奉天著陸場を出發し奉天鐵嶺街道上を偵察すべし

(三)岡大尉はモ式十六號に搭乘川上中尉の操縦を以て十六日午前九時十七分奉天著陸場を出發し奉天鐵嶺街道上を偵察すべし

(四)予は十六日午前八時より奉天著陸場に在り歸還を俟ち同地に於て報告を受領すべし

行動は命令の時刻を以て開始せられた。十六號機は九時十一分二十六號機は同十七分に北の空に向けて出發し其の機體は滿澄した青空の中に消え込んだので有る。偵察飛行機が出發した後に中澤中尉はカーチス式百馬力のモーターを有する二十四號機を格納庫から曳出して發動機の運轉を行つた上で安東縣、大連、旅順、春北他沿線各地から出て來た小學校生徒及一般觀覽者軍隊等に對し澤田中尉と二人で交々數回の講話をした。聽衆は代つても說明者は二人切りだから長飛行より苦しいと云つて居つた。我々は同じ事は三日以來日に何回も聽かされたので大分飛行機通に爲つた。さう斯うして居る間にプロペラの音が先づ幽に聞えて十六號機は遙に北の空から其の形を顯して來た。

▲數千の小學生徒

が一度に騷ぎ出した。雪を飛ばして滑走し驟て安定した飛行機上から廣中參謀は悠然と降りて來た。昨日偵察の功を奏せずに引還したのに比すると今日は大分元氣がよい。其の報告に曰く。命令に依り敵狀を探るべく飛翔し初め北陵森林を目標として前進し長春行鐵道線路に添ひ平均高度六百メートルを以て進行せり氣溫零下十四度より十五六度風速六メートルを上下す。九時四十二分鐵嶺の南方新屯と覺しき處、雪の道路上に黑き縱隊らしき者を發見せり。此の距離約一里半許なり。由つて機は低空飛行を爲し土口子に於て敵の兵力一箇大隊乘馬二頭を發見して引還したり。敵は猶南進を繼續するもの丶如し。と云ふのである。處が引續いて歸るべき筈の二十六號機が容易に歸つて來ない。何をして居るだらうと一同心配して居る處へ二十六號機が新屯附近に著陸したと電話が掛つて來た。

▲皆顏を見合せた

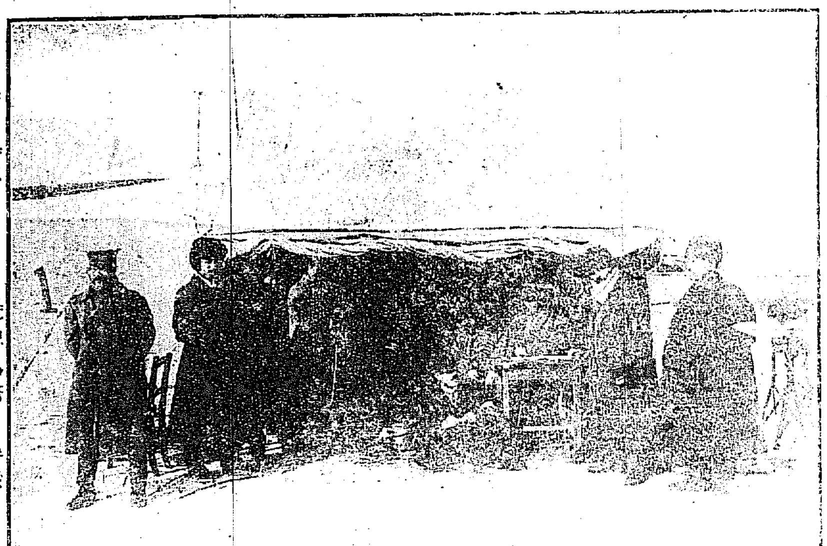
偵察に行つたのだ。下は敵地である著陸したとすれば機械に故障が起つたに相違ないと非常に心配して電話や電報で其の附近に問合せて見ても單に著陸したと云ふ外には少しも分らない。さうして居る間に十一時が鳴つた。十六號が歸つてから約一時間もたつかまだ見えない。愈々事だと騷ぎ出したのは十一時三十分頃だ。さうすると遙か遠くにプロペラの響きが聞えて機體が見えた。萬歲々々。心配して居た一同は數千の觀覽者と共に大騷ぎに歡聲を揚げた。安著すると岡大尉は機を降りた。其報告に。二十六號機は平均千二百メートルの高度を取り北進し十時五分土口子に於て七箇中隊許の敵を發見し

▲爆彈に擬したる報告筒

を投下したる處、その筒に結ありたる目標旗が車輪の鐵線に卷付き危險を感じたるを以て直ちに著陸して之を取除き報告筒は福原鐵嶺旅團長に手渡し暫時休憩後歸來せり

▲午後カーチス式

二十四號機の飛翔を試驗せんとしたが、機械に故障を生じた爲めに飛行は能きなかつた。十六號二十六號の二機は遼陽の空に飛んで同地[illegible]に對して講演をした上、四時十分前後して歸つて來た(十六日奉天、勝村特派員發)



□飛行班本部 天幕內に倚れるは飛行班長曾田工兵大佐、前列より二人目勝村本社特派員、右方格納庫の一部[illegible]

●瓜哇より歸へれる夕張丸

種子島附近の珊瑚礁に擱坐

北海道炭礦汽船會社所有汽船夕張丸(四千七百[illegible]噸)はチヤーター[illegible]瓜哇より抑留獨逸機械類を搭載歸朝の途中鹿兒島縣種ケ島附近の珊瑚礁にて十六日午後十一時坐礁し船首は九尺船後二十二尺浸水し門司山科商會出張所にては十九日第二魁丸又は甲羅丸を救助の爲派遣すべく目下準備中なり(門司支局特電)

●自ら擱坐す

船長最後の決心

直江津丸の遭難

竹島附近の遭難船救助の爲め十三日現場に急行せし警備船居海丸は昨日漸く歸港したるが其の報告に依れば遭難汽船は山口縣都濃郡大華村本文六氏所有船にして目下

▲神戸鈴木商店がチヤーター中なる直江津丸(七二六噸九二)にして去る五日石炭六百噸を積載の上福岡を發し支那青島へ向ふ途中十一日午前零時四十五分竹島燈臺を距る東方約二海里の沖合に差掛るや突然船體に強烈なる震動を感じたるより船長永田嘉治氏は大に驚き若しや暗礁に觸れたるにはあらざるかと直に

▲機關の停止を命じ各局所の檢査を行ひたるに何等異狀を認ざりしを以て其儘航行を繼續したるに同二時十分頃意外にも海水が猛烈なる勢にて浸入し既に船艙內に積載せる石炭の上二尺に達せるを以て此は大變と船長以下必死となりて排水に努めたれど及ばず終に沈沒の危險に瀕したるより最早此上は

▲最後の手段を取るより外なしと直に船首を廻らして全速力を以て竹島燈臺を目掛けて突進し自から同島南岸の淺瀨に乘揚げたるものたるが乘組員は船長以下二十四名にして擱坐と同時に本船より鋼索を張り之に依つて悉く無事上陸するを得內二十一名は翌十二日同島附近航行中の宮島丸にて內地へ歸還したる由同船は本年一月中前記鈴木商店が一箇月三千八百圓にて四ケ月間チヤーター借用せしものにて

▲神戸海上保險に入萬圓の保險を附し居れるが船體及び石炭は引揚げの見込あるやにて損害程度は約一萬圓位のものたらん(木浦支局)

●溫良の賢夫人

自ら後圃を鋤く

昨紙所報の如く淑德の譽高かりし忠北道長官夫人鈴木みき子刀自は十六日午前八時微恙のため床に就きたる儘同日午後六時半病勢俄かに革まり遂に同七時腦溢血のため齡六十三を一期として逝去せられたり夫人は明治元年十五歲にして鈴木道長官の許に嫁せられて以來既に四十九年其の間一日の如く溫良貞淑を以て盡され長官の今日ある又夫人內努の功預かつて力ありと云ふべく常に健康勝れたる夫人は奢侈に趨り易き殖民地婦人の弊風を矯んために自ら邸內に蔬菜園を設けて之れを耕し又昨夏邸內に於て養蠶を試みられ成績善く始政五年共進會に出品して名譽ある銀牌を受けらる丶等片時の閑をも利して現代婦人に活模範を示され又愛國婦人會日本赤十字會員として公共のために盡さる丶等眞に婦女の龜鑑とすべきものありしが今回突如として長逝せらる悲報に接し弔問の客引きも切らず十八日午後一時出棺當地本願寺布敎所にて假葬儀の上遺骸は茶毘に付し鄉里に於て本葬儀執行す可しと(淸州支局)

●故鈴木夫人へ弔電

愛國婦人會淸州支部長鈴木忠北道長官夫人逝去に就き朝鮮本部長山縣政務總監は訃報に接すると同時に弔電を發し又た葬儀の際は花輪を呈す可しと而して阿部木部長も弔詞を贈りたる由山縣政務總監は赤十字社朝鮮本部總長の名を以て引き續き鈴木長官に宛て弔電を發せり

●ナイルス氏臺灣へ

來る四月十日より向ふ一箇月間臺灣臺北に於て領臺二十年記念勸業共進會開催に就き餘興として例の冒險飛行家ナイルス氏を招聘して開期中數回會場上に妙技を揮はしめんと餘興請負者たる同仁社總代中村陸氏は目下橫濱グランドホテルに滯在中なるナイルス氏を訪ひ種々交涉する處ありたるがナ氏一回の飛行料は二千圓以上なれば之れに運賃滯在費等を加算せば假に五回飛翔さすとしても優に一萬圓以上に上るべきを以て金錢上に關し尚折衝中なり若し契約成立せばナ氏は四月一日神戸出帆の因幡丸にて臺灣に向ひ同十日の開會式當日第一回の離れ技を演じ引續き開期中六回の飛行を試むべしと云ふ

●逆落しの著陸‼

支那人驚き騷ぐ=岡大尉の妙技

岡大尉は十六日午後三時三十分モ式二十四號に搭乘し場上を數回飛行の後二百米突の高處に於て發動機を止め其の儘逆落しに六十度の傾斜角度を以て空中滑走を爲し著陸と同時に機を平定したり之れ岡大尉の得意の放れ業にて城內の支那人は日本の飛行機が墜落せりとて大騷ぎを爲したり(十六日於奉天、勝村特派員發)

漬物と味噌は嶋屋が美味い品を安く賣る
節句用餅 櫻の葉 新荷著
京城岡崎町 電話二三三〇番
京城北米倉町 電話九〇三番
嶋屋
嶋屋市內販賣部

移轉廣告
弊店儀久敷旭町一丁目に於て營業罷在候處今回左記へ移轉益々業務の擴張を計ると共に大勉强可仕候間何卒不拘多少御注文の程願上候 敬具
京城吉野町一丁目
食料品、雜貨 果實、青物 海產物問屋 卸小賣
岩城馨商店
電話八四二番 振替一〇〇六番

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店
電話一〇三九番 振替口座四三九番

浪板洋釘土工用具
石油揮發油諸油
大谷金庫建築金物
消防用具類
和洋ストーブ
京城本町一丁目
諸官衙御用達 佐野彦商店
電話一六三番 振替京城一二〇番
●地方よりの御注文は代金引換を以て迅速に御發送可仕候

國產獎勵と朝鮮牛
▲見落す勿れ 畜產農業界▼
朝鮮牛の特徵
▲性質溫順にして勞力粗食に耐へ酷寒三伏の候と雖も原野に臥するも疲勞病魔に侵さるゝ事なし
▲爪の堅牢なるは岩石を割るが如き堅固無比たるが故に數十里の山路石道にてもクツを穿たしむる必用なし
▲近來朝鮮牛の佳良なるは諸點の完備せるに依る之れ農家畜產界の一大福音として賞讃せらるゝに依る
▲輸送は朝鮮及び日本內地に於ける鐵道運賃の特約と關釜間に於ける輸送は汽船により迅速確實を以てせり
▲農業家畜產界の諸彥益々御引立あらん事を奉願上候
諸牛移出問屋
釜山鎭驛前
上杉古太郞商店
電話一〇三七番

蘇つた龍山市街（四）

朝鮮駐剳の兵士を優待せよ

兵營が出來れば兵士が住み兵が住めば酒保が必ず出來る酒保が出來たら其酒保で賣る齒磨粉、雜紙類、菓子、うどん、そば、酒、煙草、石鹼、手拭、鑵詰と云ふ樣な簡單な日用品が軍隊の許可を受けて營内で賣られることゝなる尤も其賣る者は軍隊の方の下士には下士勤務の上等兵等が部下の兵卒數名を置いて兵士に賣るのであるが此方にも相當龍山側の商人が取引を開始されることになる聞く所によれば早くも種々の商人が酒保に出入をする所謂御用商人に爲らうと希望してゐるやうであるが仄かに聞く所によれば其筋でも兵營所在地の繁榮を慮り成る可く地元の商人から酒保に入用の物品を納入させる方針であるさうである。

◇師團が置かれること二萬人生活出來る 概算して五千人からの兵員二年か三年で交代して常住することになるのであるから酒保の賣商も相當に大きなものであるが夫れよりも大きいのは兵士の食料である四六の飯の米麥は毎日可成大きな石數が經理部の手で取扱はれるに違ひない又副食物としての魚肉野菜類も元山、仁川或は平壤から魚肉を引くもよし龍山附近の沃野を開いて蔬菜園を設けるならば絶えず新鮮にして且つ運賃を要せぬ底廉な野菜を供給するは一擧兩得の策で一層巧な遣方であらう五千人の兵が住めば一萬人の人が生活することが出來る内地でも一師團（約平時一萬人）出來たら二萬人の人がそれで生活して行けると相場が定つて居る

◇御用商人は溫き心を持たねばならぬ 商賣の事を書いた序に一言注意して置きたいことがある其れは軍隊の御用商人となる者は正直勤勉でなければならぬ何の商人でも不正直で横着なことの嫌はれる理由はないが特に軍隊の御用商人に於て此必要を叫ばねばならぬ軍隊では時間と淸潔の點が非常に嚴格であるからして約束した期日には必ず物品を納め殊に食料品の納入に際しては一層細心の注意を拂つて誤なきを期せねばなるまい朝鮮では未だ幸にして其事なきも内地邊の軍

隊御用商人の中には多年の信用を惡用して不正品を提供し遂には法律上の問題を惹起する樣なことがあつたが朝鮮では忘れても此樣な不名譽を出來さぬ樣にしたい殊に朝鮮の兵營に入つて二年或は三年の兵役を務むる軍人は内地の軍隊に入營して居る者とは多少境遇の違つた處もあるからして凡て間接直接に溫情を以て接して貰ひたいものである

電車脫線して車體粉碎 十八日早朝椿事

十八日午前六時二十分頃京城電車第百十七號が東大門方面より新龍山に向け黃金町一丁目の分岐點に差蒐りたる際ポイントの轉換を誤り且つ徐行すべき筈の箇所なるに急進したる爲め該電車は急遽脫線して附近の電柱に衝突して線路外に轉覆して車體は粉碎したり併し早朝のことゝて乘客無かりし爲め死傷者なかりしは幸なりし只車掌が僅かに左小指に微傷を負ひたるのみなりと

狼林山中の大虎退治計畫

平南陽德郡吳江面雲巖成指徵狼林山中の大森林に小牛大の猛虎三頭棲息し時々近在に出でゝは家畜及び農作物を荒すより特に銃器の携帶を許され居る同面の獵人某は猛虎の射殺を念とし居れるも到底一名にては危險に付今一兩名の獵人に銃器を許されたしと此程平南警務部に出願陳情せしも本部にては俄に其の請ひも容れ難く結局陽德分遣所に往き相當の助力を受くべしと諭せし由なるが同人は虎狩の計畫を語りゐたりと（平壤）

盜んだ品を祝儀に贈る

富山縣下新川郡魚津町生れ當時京城本町二丁目高見理髮店内理髮職吉野松次（三二）は昨年九月頃黃海道瑞興郡禾回面新幕の平野床屋に雇はれ中同人の隙に乘じ同家のモス一切一丈一尺餘（一圓）を竊取し兩三日後隣家に出產ありたるものに衣用として贈與したることを主人に發見せられ詰問を受けたるより右は元平野方の雇人野村某より六十錢の金の擔保に受取りたるなれば野村の竊取したるものなりと言ひ張りたるも取調べの結果同人の所爲なること判明し本町署より檢事局へ送られたり

藝妓毒藥自殺

釜山綠町勝見亭抱藝妓菜事武藤ぬい（三）は十七日午後四時二階三疊の間に於て毒藥を多量に服用して遂に死亡せり屆出でに依り警察官朱雀醫師出張檢診せり原因は失戀の結果なりと噂さる（釜山支局）

仕事場に忍込む

熊本縣飽託郡横手村生れの大工南保登（三六）は約二十日前黃海道南浦より京城に流れ來り市内を徘徊中一月七日午前四時頃黃金町二丁目大工職增田某方の仕事場に忍入り同所に置きありたる增田及諸岡兩人の所有大工道具鉋六挺外三十一點（十四圓四十二錢）を竊取し其大部分は同日杉本質屋に二圓五十錢に入質し其他は二三の古物商に賣却して衣食に消費したり尙同人は昨年九月二十七日正午頃にも前記增田の家に雇はれ中同日は京城神社の祭典休業日なるを奇貨として主人增田の所有なる銀側懷中時計一個及び大工道具二十點（七十六圓五十錢）及び現金若干を盜取し道具類は長谷川町の水上某に其他は古物商に賣却して逃走しゐたりしものにて此程京城に舞ひ戾りて本町署の手に捕へられ檢事局へ送らる

緣談で詐欺

京畿道抱川郡永北面崔姓女（三九）及び江原道鐵原郡芝浦面生れ當時抱川郡永北面崔秀萬の兩名は共謀し居村の金姓女が寡婦なるを以て同女を囮として亡夫の藥代支拂を名目の下に鐵原郡葛原面芝浦洞の鐵童に金姓女を再縁せしむべしと欺き金十五圓を騙取したるより京城地方法院に於て崔姓女は懲役三箇月崔秀萬は笞九十の處分となりたり

姦婦告訴さる

京畿道水原郡水原面南水里洪萬景の妻安富金（二一）は大正四年舊十一月廿三日より本年二月一日迄水原面社水里安鳳善方及び同面南水里にて辯護士韓東履の事務員韓應澤（三八）と姦通したる爲め本夫に告訴せられ水原支廳に於て安富金は懲役三箇月（二年執行猶豫）韓應澤は懲役六箇月の處分となる

厄落し＝藁人形

十七日は陰曆正月の十四日に相當するので、此夜は朝鮮舊來の習慣上其年の厄年に相當するものは厄落しといつて高さ二尺位の藁人形を拵へ其人形の中には若干の金錢を封入して置くと附近の徒ら鮮童等は家々を廻つて歩いて此藁人形を拉し去るのであるが其際家の者は此人形と共に一年中の厄を皆持つて行けと言ふ、子供等は右の藁人形を持つて行つて中の錢を拔き取り人形は路傍に棄てる其れで十四日の夜京城の鮮人部落を歩いて見ると至る所路傍に澤山の藁人形が轉がつてゐた

……月、金二萬圓……落籍して驅落ち釜山より一しかば一昨夜川人が鮮人街某宿屋の一にて桂天が跛足なるを嫌ひ何時しか同里なる叔父の金鳳集（三八）等と共居るを突き止めたる桂天は憤怒の餘り擬傷を負はせ半殺しになしたる際救助する者あり幸に生命のみは取止め

連絡船上陸客

十八日山入港弘濟丸二二等客（一等）加賀福二外八四名（二等）大曲和一郎

商況

債券現物特電

（東京）十七日出來値段（前日との比較）

東洋拓殖	一五七、〇〇	……
日韓瓦斯	……	
朝鮮銀行	……	
朝鮮瓦斯	……	
南滿鐵道	一五〇、〇〇	……

公債直取引（東京特電）

十七日出來値段（前日との比較）

五分特別	九五、四〇	……
五分利公債	……	
一回四分	八三、〇〇	……
二回四分	八三、九〇	……
甲五分	九四、七〇	……

深川在米特電

十七日現在高 朝鮮米 [illegible] 地廻米 [illegible] 内地米 [illegible]

東京期米特電

	十七日前場	後場
二月限	一七、五二	……
三月限	一八、一〇	……
四月限	一八、八〇	……
五月限	一九、三五	……
六月限	二〇、六〇	……
七月限	二一、二六	……

大阪株式特電

種類	拂込	前日	十八日前場
宇治川水	五〇、〇〇	……	……
神戶電氣	五〇、〇〇	……	……
京阪電鐵	五〇、〇〇	……	……
和歌山水	五〇、〇〇	……	……
台灣製糖	五〇、〇〇	……	……
日清紡績	五〇、〇〇	……	……
同新株	五〇、〇〇	……	……
東洋紡織	五〇、〇〇	……	……
大阪商船	五〇、〇〇	……	……
日本郵船	五〇、〇〇	……	……
大阪米穀	五〇、〇〇	……	……
東京株式	五〇、〇〇	……	……
大阪株式	五〇、〇〇	……	……

延着の昨日に付後場は電文不明の爲め掲載する事を得ず本日前場は更に安値に陷り居れり値段は電文不明の爲め掲載する事不得

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

	十八日前場	後場
二月限	一六、四〇	一五、九〇
三月限	一六、四〇	一六、三〇
四月限	一七、二〇	一七、〇〇
五月限	一七、九〇	一七、五〇
六月限	一八、一〇	一八、一〇
七月限	一九、一〇	一八、九〇

朝鮮物產特電

釜山白米	二、三五	釜山大豆	[illegible]
仁川白米	二、三〇	群山大豆	[illegible]
元山白米	[illegible]	鎭南浦大豆	[illegible]
……	……	……	……

十八日前場 三、七二 三、五一 一三、七五 止め

雜報

木棉絣漸騰

伊豫並及び久留米絣は舊正月後より好況に入り値段も騰つて高く六月頃に至りて漸く低下して九十月の交を以て最も安値とす此慣例なるが昨年來の情勢は全く此慣行を破りて十月中旬に上向の氣配を揭げ舊正月前に於て一層の昂騰を示し居れり而して之が原因は言ふまでもなく染料の暴騰に歸し是等織物共通の原料である藍及び染料の高騰によつて損を生じ……[illegible]

鑵詰類更に強調

[illegible]

石油又々値上 油共に二十五錢の値上 俄然內外石油

[illegible]

油價益々昂騰

[illegible]

燐寸更に高唱 更に四十七圓尙高

[illegible]

暴騰 一躍三圓五十錢

人爲的策略の存在 其眞相を確む

[illegible]

洋臘値上げ手

[illegible]

發表 全然禁止

[illegible]

一斤に付五錢上 發表に決

[illegible]

金巾目先持合手

[illegible]

氣味 一寸行悩 此邊持合ふ事とならん

[illegible]

芳香原料昂進 一圓方へ奔騰

[illegible]

明太魚賣行閑散 元山入電 十六圓五十錢

[illegible]

下關相場

[illegible]

利 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

各地商況

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻米

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米 十八日前場 五錢高の入電

[illegible]

二節七十錢と安 移迄節薄商內

[illegible]

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 [illegible]

市場零聞 前場焦げ付き 又復新動機待 前場の商戰 市場閑散

[illegible]

中限の前途觀 依然中限に集 買方は買方に依り賣方は賣方に 新規賣買兩關係者に限る 場況顯出 正米は割外の相 意外の結果 存外大受

[illegible]

仁川米豆取引所 十八日の四月限

[illegible]

鐵工株の強氣說 北濱だより

[illegible]

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三番 二月十九日より提供の三大寫眞 ○滑稽 下男の正體 ○實寫 ○新派大悲活劇 うらみ 全三卷四十二場 ○泰西社界劇 天網 全四卷八千尺 [illegible]

壽座 本町 電話五七八番 新派劇角藤派木村清憲一行 二月十八日替狂言 德富蘆花氏の作 ほとゝぎす 全通し 破顏割引上場行次第二十錢均一三等に限り十錢

御成座 御成町 電話二九一番 十九日替藝題 前切 龜山 中將姫 敵討 一五場 [illegible]

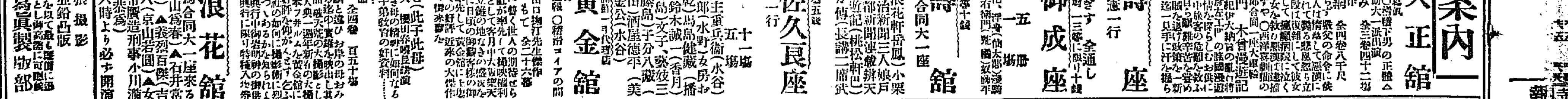
壽館 電話一〇五〇番 武藏大椽、桃松軒巴合同大一座 二月十八日の讀物 神崎與五郎東下り（浪花軒岳鳳）小栗判官（京山八千代）明治新聞三人娘 天一坊 次郎（吉田一奴）部新聞連載 辨天 春子 鄕生十兵衛漫遊記（桃松軒巳） 一休 搭道錄 義士銘々傳（長講二席） 武藏大椽 前日の續

佐久良座 新龍山 新派自然劇團三輪寶一行 二月十八日藝題 前狂言 喜劇 酒皮 財布の罪 十一場 [illegible] 五場

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 二月十八日より特別大興行 歐洲戰亂エクレア週報 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 京山若圓京山恭爲合同大一座來る [illegible]

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 京城日報社寫眞製版部



何人でも一度御試飮あれば必ず一生涯御常用になる銘酒悅一 天賞 大喜正宗 を召し上れ

龍山漢江通一丁目 灘屋釀造所 電話三三一番

內科 小兒科 入院隨意 龍山漢江通一丁目 原醫院 電話五〇七番 院主 醫學得業士 原志磨志

御家庭用としては嗜好に富む ヤ 優良御醬油に限る！ △御用命の際は必ず電話二四六を御忘れなく願います

味噌 醬油 清酒 御商 ヤ 平壤 內田出張店 龍山漢江通郵便局前 電話二四六番 振替京城一九二四番

△一貫目廿七錢、五貫目以上特に御相談に應ず……

㊁印はまれ味噌を召上れ 御臺所用としては天下一品

生糸 蠶繭 蠶種 屑物 其他朝鮮物產賣買 京城龍山漢江通十一番地 朝鮮繭絲商行 行主 鳥飼武次郎 電話龍山二五六番

電球代金値下廣告 金屬纖電球約四割減 炭素纖電球約三割三分減

種別	金屬纖電球壹個代 破損又は紛失の場合	金屬纖電球壹個代 心線切斷の場合	炭素纖電球壹個代 破損又は紛失の場合	炭素纖電球壹個代 心線切斷の場合
五燭光	金四拾五錢	金參拾貳錢	金參拾錢	金貳拾錢
六燭光				
八燭光				
十燭光	金五拾錢	金參拾貳錢	金參拾錢	金貳拾錢
十六燭光	金五拾錢	金參拾貳錢	金參拾錢	金貳拾錢
廿五燭光	金五拾錢	金參拾貳錢	金參拾錢	金貳拾錢
卅二燭光	金五拾錢	金參拾貳錢	金四拾錢	金參拾錢
五十燭光	金五拾錢	金參拾貳錢	金五拾錢	金四拾錢
百燭光	金壹圓五十錢	金壹圓廿錢		

丸形電球は壹個に付金五錢を増す 艶消電球は電球の値段に金五錢を增す

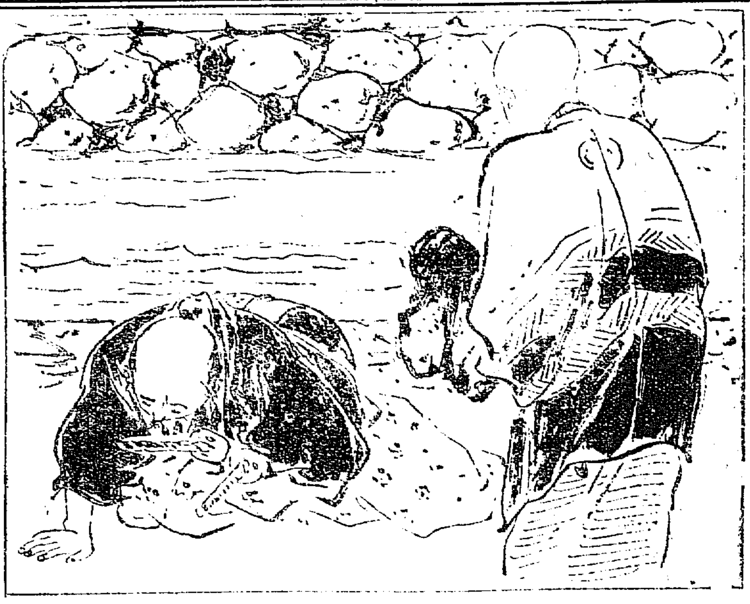
當分の內新設引込架設工料は破格を以て五割引致候龍山方面は便宜上左記の處に御申込被下度願上候

京城電氣株式會社 龍山陳列場 電話六五九番

越後大評定

第百三十四席　早川貞水口演

片手落の成敗



小栗美作は御國表に立歸ると、是まで通り執權職を執り、愈己れの倅大六をして越後家の家督を繼がせましたから、小栗加擔の惡人共は又々時を得て、荻田主馬、永見大內藏に從ひたる御爲方の面々が遠ざけられました、忠義の人々之を殘念に思ひ、終に原田一十郎、荻田仙右衛門、天野一角、小野星庄助、望月見八郎等等を初めとして二百七十三名、切火繩鐵砲にて高田の町を立退き同國日山の麓、謙信の城趾、一里餘方の所へ陣を打ち、是より一里二十六町四方武士村と記し此處に立籠り、若し追手の者攻め來らば、斬死なさんとの覺悟で御座います、此方は荻田、永見の兩名は、一言の申し開きすら御聽取りなく、直に御沙汰とあつて、長州家へ差立てに相成りました、兩人は如何にも殘念に心得、天神地祇にも見放されしかと其嘆は實に道理で御座います、さて歲月は流る丶如く早や延寶六年も過ぎ七年と經ち八年七月十一日となると、長州表の大手、櫻御門と云ふ所に一人の侍が倒れて居ります、年の頃は二十四五、鬢髮々として身體痩せ衰へ永年の浪々の身の上と見えて、實に見る影もなき有樣、恰度夜の引明に巡回の者が之を見付け、段々介抱に及んだが、なか／＼蘇生いたしませぬ、所へ毛利家の表醫者桂幸庵が御用所にて急いで櫻御門を通ると、多勢の者が寄つて集つて居りますから、何事ならむと家來に申し付け、容子を尋ねさせると、昨夜の事と見え、何れの侍か知らぬが、此處に倒れて居るを、今朝に至り發見して色々と介抱いたすが、未だ蘇生に至らぬと云ふ、幸庵之を聞きて『ア、それは不憫の至り、ドレ容子を見て取らせん』醫は仁術と申しますから長州家の表醫者なれど『何れ然るべき身分の者ならんに非人に等しき浪人の行倒れは氣の毒の至りなり』と傾て側へ寄つて脈を取り鍼を取り出し、二三本刺して脊中をドゥーンと一つ打つと、ウーンと應へた樣子、早速藥を服ませ櫻御門の御番所へ連れ行き手當を致しますと、第三日目に至りて漸く起き上り兩手を支いて『……拙私は越後高田糸魚川の城主荻田主馬の家來、飯田六之助と申す者で御座います、主人主馬は御當家へ御預けと相成り、一萬五千石改易糸魚川の家も取り上げられ、高田拜領町屋敷は三日の中に引拂つて、主從チリ／＼バラ／＼と相成り主人の奧方は、越前福井在の鹽濱三右衛門方へ引取られましたが當時御病氣何卒いたして之を良人の許へ屆けくれよと、奧方よりの申し付け其より越前をば立出でましたが、素より路用の金も乏しく、辿り／＼て是まで罷り越したる處、三日前より食事を致さず漸く望みが達して、御主人に會へることか、ヤレ嬉しやと思ふと氣が緩みしか、眼が眩んで倒れましたが、其後の事は少しも知らず、今初めて氣が付いて見れば、各位方御助け下され、斯く迄手厚き御介抱何とも御禮の申しやうもムりませぬ、此上御言葉に甘へるやうではムりますが、何卒いたして主人の許へ此奧方より送られたる書面を御取次下さる事が出來ますまいか、是ぞ一生の願ひでムります、遙々これまで參りました私の心中御察し下されたし』

お聞きなさい

▲道程十箇國● 新任駐日伊國大使クツキボアツソ氏は日本へ赴任する爲め一月十日羅馬を發しミラン、巴里、倫敦、ニユーカッスル、諾威、瑞典、ペトログラードを經て十四日日本へ着した、日を費す事三十五日十箇國を經過して漸く着任をしたと同大使は語つて居る

▲好しからぬ同盟● 金澤醫專の生徒には十四日から同盟休校を開始した原因は同校教師の醫學博士福田政一氏と助手研究生との感情の衝突が原因をして居ることは苦々しいことだ

▲女子農會の組織● 全國到る處農會の設けはあるが會員は皆男子に限られてゐるこゝに愛知縣碧海郡大濱村では今度女子農會を設立し農事の外家事料理裁縫まで研究もし又教授する事となつて五月發會式を擧げたといふ女子農會の組織は日本廣しといへどもこれを以て嚆矢とする

▲お池の水● 近來肥後阿蘇のお池の水が縣外輸出をやつて居るのは素晴らしいもので此間は伊勢山田出身辻代議士が同地老舖油屋の依賴とかでお池の水二斗樽一荷の寄贈方を熊本の平山前代議士に賴んで寄越したさうだ神風の伊勢の國からお池の水所望は近頃面白い話

入院隨意（診療夜九時迄）
泌尿器病　腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　痔瘻　皮膚病　專問
永樂町二丁目金光教會隣り
安部醫院　電話四一九番

二月廿日九星　舊正月十七日丁亥　本命三碧　納　大安

▲三碧● 既のきかぬ事有り新事見合 坤の方は[illegible]▲四綠● 大治の日[illegible]▲五黃● 自ら大損の事有り新事手控[illegible]▲六白● ゆきなやみの事有り新事手控ふべし▲七赤● 平穩の日なれども新規控目の方吉[illegible]▲八白● 互にかん違を生ぜんとす新事手控[illegible]▲九紫● [illegible]▲一白● 手順よき日[illegible]▲二黑● [illegible]散財を惡さんとす新事手控[illegible]

生徒募集

京城公立高等女學校

本年四月入學セシムヘキ本科第一學年及同第三學年生徒若干名募集ス

大正五年二月五日

一、本科第一學年ニ入學セシムヘキモノハ本年四月一日ニ於テ年齡滿拾貳歲以上ニ達シ尋常小學校ヲ卒業シタルモノ或ハ本年三月末卒業スヘキモノタルヲ要ス

二、右入學志願者數募集人員ニ超過スルトキハ選拔試驗ヲ行フ其學科目及程度左ノ如シ 國語、算術、日本歷史及地理、理科、裁縫

三、右第三學年ニ入學セシムヘキモノハ相當年齡ニ達シタルモノニシテ左ノ學科目ニ就キ本校第二學年修了程度ノ試驗ヲ行ヒ之レニ合格シタルモノ中ヨリ選拔ス 修身、國語、算術、日本歷史、地理（日本、[illegible]）理科（動物、植物、鑛物、生理衞生）裁縫

四、入學志願者ハ左ノ書類ヲ來ル三月二十日マテニ本校ニ到著スル樣差出スヘシ 入學願書、履歷書（以上本校學則ニ依リ認ムヘシ）戶籍謄本（大正五年一月以後ニ調製セルモノ）學業證明書（小學校在學者ハ本學年度第二學期迄ノ成績ヲ記入シ其他ハ最近ノ學年修業證明書）及本年三月卒業見込ノモノニ付キ當該學校長[illegible]

五、選拔試驗ハ[illegible]八日第一學年入學志願者ニツキ[illegible]同十九日第三學年入學志願者ニツキ行フ[illegible]筆紙、硯、鉛筆、小刀、辨當[illegible]携帶シ[illegible]前九時マテニ出頭シ係員ノ指揮ヲ俟ツヘシ

六、[illegible]第一學年選拔試驗日割左ノ如シ 三月二十一日 國語、日本歷史及地理 二十二日 理科[illegible]算術、裁縫、身體檢査

注意　トラホーム患者其他傳染性疾患アル者ハ入學ヲ許可セサルコトアルヘシ

美容術　最新白色法　長毛法
東京美容院　院長 北原十三男
神田駿河臺鈴木町九　電話本局一七七一
於藥品部院長渡歐英獨佛に於て實地研究に成る左の美顏料を要する方は在來の[illegible]本院の美容術を全然相違す
最新白色料にきび及しみそばかすの美顏料やせる藥優良なる毛生劑毛脫材料ちゞれ毛くせ毛直し艶藥隆鼻器肥肉劑新發賣毛を黑くする髮油白粉洗粉迄美顏材料貯藏豐富

流經新藥レスノリン
月經　閉止經過四五ケ月以內ニ應用ノ目的ヲ達シ其流經作用ノ確實ナルコト他藥ニ優越ス●藥價一瓶一圓送費內地十二錢外卅錢 切手一割增 說明書三錢切手 流申越進呈
大阪北區曾根崎上一丁目三六地　發行所　常盤藥院　振替大阪六一六〇番

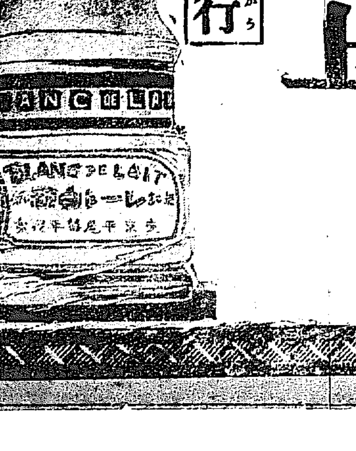
一瓶で効ある　たむし新劑
殺菌　速効
靈効無比
本劑は無色の水劑故身体衣類へ色附かず
頑固な　田虫　いんきん　皮膚病も快治す
（一個十二錢　廿錢　特製五十錢　一圓　送料四錢）
本舖…名古屋市廣小路通…小林盛大堂
大阪…新町小休大藥房　東京豐島町藤井藥局
賣捌…全國藥店　若[illegible]着金直送郵券不苦

山東原鹽　關東鹽再製　青島鹽粉碎
各種販賣
仁川[illegible]鹽販賣所　電話二四〇

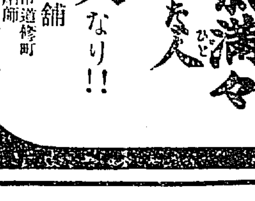
履物問屋
特許西田屋緒
大路本店
大阪市御堂筋北久太郎町
電話東百十九番　振替大阪一四八八
[illegible]
大阪履物[illegible]

降る雪に益々肥る雪達摩
文亞燐　服用で元氣滿々
寒さしらずに益々肥る德な人
寒中服用して効果特に著大なり!!
醫家適應　●やせた人　●消化不良　●貧血の人　●神經衰弱　●多病の人　●產後病後
大瓶中瓶小瓶の三種あり　賣藥店に各藥店に
本舖　大阪市道修町　藥劑師　小西久兵衛

宮內省御用　皇后職御用　各宮家御用
謹告　愛用各位に
レート特有の
美白原料暴騰の爲
レート煉白粉小瓶値上
一個ニ付壹錢
二月十日より實行
品質の優良と効果の絕大とを以て滿天下の貴女淑女に多大の御愛用を辱ならせるレート白粉の儀其の配劑原料たるレート特殊美白料今回意外の暴騰を告げ候結果右の如く値上の止むなきに立至り候事誠に遺憾に堪へざる所に候も之れ一に實質の低下を防ぎ益々品質を精煉して需用各位の期待に答へんとする主旨に候へば本舖の苦衷御賢察の上何卒倍舊の御信任を以つて一層の御愛用願上候
レート化粧料本舖
東京　平尾贊平



御園の露
金十五錢　金五十錢
顏に脂多く、白粉はしり、色艶常に惡く吹出物などにお困りの方は化粧水御園の露を御常用なさいませ、皮膚ひきしまり色艶はしく見違へる樣に美しくなります
御園の露は一名を御園とき水と申して御園白粉には御園固煉白粉を使ひ頤の薄さに溶きのばすに用ひる御用の化粧水です
本舖　伊東胡蝶園
發賣元　丸見屋商店



攝津灘　大塚釀造所吟製
京城本町二丁目　發賣元　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五

內科小兒科　皮膚病花柳病　入院隨意
京城日出小學校前　多々見醫院
院主　醫學得業士　多々見五郎　電話九四〇番

汽車發着

[illegible]

京城日報

十九日朝刊
(夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 郵稅一ヶ月金拾五錢 郵送に限り三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄內一行金壹圓 ▲指定所一行金壹圓拾錢 ▲三號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字同樣
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 卷口攸太郎
發行所 太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 編輯用長三四五番 二一四番 營業用三八番 長六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

東京株式特電 前日の相場通報にて營業者の協の立會休止

東京期米 十八日前場 四月限 [illegible]

大阪株式特電 前場更に安値に陥り後場休會となる

大阪期米特電 (十八日) 七月限 二八、六〇 二八、七〇

▲後場の手振り [illegible]

▲本日の現物界 本日は拾ひ賣 正月十五日に [illegible]

後場 寄付 十四圓七十錢 十四圓七十四錢 高値 十四圓七十六錢 安値 十四圓七十錢

三月限 四萬七千五十石 四月限 四萬五千五百五十石

……にして彼が職務の範圍はたゞに單に[illegible]若くは汽船のみならず民船所有者の向背を調査するにあり

恒久的經營
京城日報

頃者、我帝國本土の政治界は、朝鮮臺灣諸地に關する議論紛々たるの狀あり、本土論客政治家年月を經るに從つて、其新領土植民地に關する智識及び利害關係を、增益し來るの姿あるが如くなるは甚だ喜ぶべしと雖も、此種對外經營は、我帝國に取りては全く新なる經驗なると、本土のみに親しむものは其海外領土の事を會得しがたき所以のものあるとの爲めに往々にして議論其要を失ふものあるは、吾人の甚だ遺憾とする所なり。

古來新領土に於ける施設にして、最も難しと爲す所のものは、其經濟的經營にして、一たび其規模を定むるときは、必ずや其目的を遂せざれば已まず、固より年月を限りて其功業を期すべからざるなり、若し其功業を全くするに至らずして、其方策を改更し、又は其を中廢するがごときことあらむか、其目的を達する能はざるのみならず、過去に於ける經費と勞作とは、悉く徒空に歸するや言ふまでもなく、其の物質上及び精神上の損失を、新領土全體の事に及ぼすを避く可からず、此の大本義を解するものにして、初めて共に經濟的施設を議る可きなり、我朝鮮の拓殖經營の如きは、則ち最も此に其心を致さゞれば之を解する能はず。

世間我朝鮮に於ける東洋拓殖會社の事を以て、普魯西のアンチードルングス、コムミツテーの業に比するもの多し、是れ其の業務の一面に土地の處理農民の移植の事を含むを以てなり、併しながら彼は專らポーゼン西普魯西を以て其範圍と爲し、且專ら土着波蘭人の土地を買收して之を獨逸人に給附するといふ、極めて限定せられたる施設なるに對して我拓殖會社は則ち其名既に東洋を冠し、其業務亦農民移植以外に於て更に重大なるものあり、則ち一言以て之を蔽はゞ、我帝國の亞細亞大陸に對する、拓殖政策を體表する所の一大特許會社なり、而して我帝國の此拓殖政策を擔當するものは、則ち我朝鮮總督府なるに於て、總督府の經營方針は此機關に依りて行はれ、總督府の施政の進歩に伴うて、其體ふところの針路を定めざる可らずして、アンデードルングス、コムミツテーの如き、一部局の[illegible]覩す可らざる所以のものあり、且此種拓殖事業は一度之を[illegible]ときは、其成功を數十年の後に期す、朞月の間の成敗は固より問ふところにあらざるなり、啻に之のみならず、其進行の中間に就て之を見るときは其行徑多くは、人意を滿たす能はざるが常にして、非難批評を受くるは、固より避くべからざる所なり、就中普魯西の波蘭拓殖政策は、其昔ビスマークが初めて之を經始したる當時より、困難なる事情纏綿し非難攻擊亦た歲月と共に加はるものあり、普魯西政府これが爲めに資金を投ずる鉅億に上るも、其成績は豫期の如くなる能はずと雖も、獨逸政治家は斷じて之を拋棄せざるのみならず、其を經營する爲めに幾たびか法律を制定し、其進行する爲めに資源を增益して拮据經營倦まざるなり、彼の三十有餘年の歷史は多くは是等失敗の痕跡なりと雖も、猶ほ之を改更中廢するを爲さず、是等即ち拓殖を行ふものゝ、當に然らざる可らざる所なり、况や失敗の歷史を有せざる者に於てをや、大國民たるもの其志を立つる所以を知らざる可らず。

子孫の爲めを計りて
眞面目に支那を研究せよ
立花警務總長談

世人口を開けば忽ち支那問題を云々し或は帝國の態度を批難し或は列國の態度を論議するが總て是れ淺薄な輕薄見の言のみで唯歎かはしい限りである誰れ一人として眞に支那を研究して之を理解し日本の立場から見たる東洋の平和の爲めに

△眞の支那問題 解決策を講ずる者がない憾くては徒に他を誤り人を迷はせるのみである支那問題、換言すれば日本帝國の對支問題は啻に現下吾人國民の頭上に掛れる大問題である許りでなく吾人の子孫にも關係ある國家百年の大問題である今日其策を失せんか一歩の小過は百歩の大誤と成つて子孫を惱まし煩はすに至る事

△火を視るより も明かである一口に對支問題と言ふも今日執らざるべからざる策を定むるには充分愼重なる考究を要する事勿論である四千年の歷史、四百餘州の山勢水態、四億の民の國民性、扨は袁總統の性行、其左右の人物から革命軍の旗擧げを爲した中心人物の性情、經歷奈何、倘進んでは南北

△兩軍の進退等 總て支那に關する問題は之を悉く自家藥籠裡のものとしてこそ初めて聊か支那問題に就て語り對支問題に就き云々するの事が出來やうと云ふものだ然るに今日支那を談ずる者の殆んど總ては更に支那を知らず知ると雖も淺薄に其頭腦は徒らに混亂してゐるから傾聽するに足る程の

△定見の出樣等 が無い我輩の敢て江湖に薦め度いと思ふのは日本國民の急務として眞面目なる支那研究を爲さん事である吾人現下の急務として之が研究成り帝國の對支政策其機宜を得ば獨り現に東洋の平和のみならず東洋人百年の幸福となる一時の利の爲め一瞬の名の爲めに無責任な言辭を弄する事は大に戒めねばならぬ

放浪漫記
大谷光瑞 (一月十日カルカッタに於て)

昨年末シンガポール滯在中は、多降雨の爲め非常の冷氣を感じ、寒暖計は八十度を越ゆること稀にして、大抵は七十五六度を指示致居候爲めに流汗淋漓を免れて愉快なれども、散策は降雨の爲め妨げられ概ね蟄居致し居候。

二十五日、シンガポール發の博多丸に乘じ北航致候。同日はクリスマスの爲め一般休業なれども、船舶は如斯に頓着なく出入し、特に同日は、我郵船は五隻の出入を算し、代理店の英人は休暇の喪失に落膽致し、頻りに不平を言ひ居候。小生頗るこの點に同情致候。翻つて考ふるに、我郵船の發展は休日をしても、この繁忙を免れざらしむるに至りたるは、又大に人意を强うする點に御座候。

シンガポール以北は、海峽中風浪殆んど滅し、細瀾皺紋を爲すに過ぎず

二十七日ピナンに著、同日午後四時出港の豫定なりしも荷物多く、爲めに翌朝、出港致候。これよりラングーンに至る間は、雲量減少し、北行に從び快晴に赴き、而も北東風頗る微弱にして、海面碧油の中を行くが如し、三十一日朝濁水を見ると共にラングーン港に午後二時到著致候。ラングーンは荷物頗る多く、加ふるに新年元旦と二日の日曜休暇の爲め、漸く四日午後二時の豫定なれば長時間ラングーン滯在の必要無きを以て、小生は一日夜行してモールメーンの天然洞穴の見物に赴き申候。一日朝、居留邦人と共に大正俱樂部に於て新年遙拜式を擧げ、併せて共に新年の祝辭を述べ、我が邦人の發展を慶賀致候。此夜汽車にて東行、翌朝六時マータバンに著、これよりサルヴエン河口を汽船にて渡り、モールメーンに行く豫定の處、曉霧閉ぢ鎖し、汽船の航行を許さず、漸く八時霧の散ずるを待ち對岸に到著し、同地居留の我邦人數名、人馬車を驅り天然洞穴に向ふ、行程約七八哩に過ぎずと雖も、中間に河あり未だ架橋せず、渡船により之を越え對岸に至る、馬車無く牛車に乘じ、約一時間程を費し遂に達す、洞穴は石灰岩の小丘約三百尺の田間に屹立せる中間に在り、大小二箇を有し、大は入口狹窄にして平地よりは上に洞穴を有し洞內概ね暗黑なり小は殆んど平地に近く大なる洞穴あり、中に佛菩薩等泥塑像を設く、大洞穴は佛像等を有するもの少し蓋し洞內岩石累々たるを以て之を設くるに便ならざるならん乎、然れども頗る高大にして、燭を以て之を照して仰ぐ、穹窿を見觀し之を馬來半島のコランポ附近のバツ洞穴(昨年三月遊び其の形式を報告せり)に比すれば、洞內高廣に於ては、やゝ遜るが如しと雖も、其深遠なるに至つては、遙に上に在り約我が二丁程は步行も得可し、その以上は匍匐約十數間進み得可しといへり(未完)

私立學校現況
總督府

▽宗敎學校の消長 最近の調査に依るに現に朝鮮人を敎育する私立學校一千百五十四校の內、四百五十校は敎科課程中宗敎を課するものにして所謂宗敎學校なるが、之を朝鮮敎育令の實施當時即ち明治四十四年に對比すれば五百十七校を減せり、這は主として新敎育令の實施に引き續き私立學校規則の改正に伴ひ其整理改善に勗めたると維持困難を來せるに結果するものとす

▽種類と其分布 私立學校の多くは普通敎育を爲すものにして其修業年限は概ね初等程度、高等程度共各四年、敎科目は修身、國語、朝鮮語及び漢文、算術、理科、裁縫及び手藝、唱歌、體操、商業等にて略ぼ普通學校、高等普通學校、女子高等普通學校の敎科課程に準據したるものとす、而して內高等程度に屬するもの三十校、普通程度及び高等程度の敎科を併置するもの百三十六校、其他は概ね初等程度に屬するものとす、倘ほ學校の最も多きは平安北道の二百二十一校にして平安南道の二百十九校、京畿道の百七十四校、咸鏡南道の百七十二校之れに次ぎ、最も少きは全羅南道の十六校たりとす

又々敎員數は三千七百八人內女子二百三十九人、內地人百五十二人にして平均一校に對し敎員三人强、生徒十五人に對し一人の割合なり

▽生徒と卒業生 生徒數は在籍者五萬六千七百九十三人(宗敎二二、二六二)の內女子八千九十五人にして平均一校の生徒數四十九人强なりとす、而して如上就學兒童數を以て大正三年十二月末日現在人口數一千五百六十二萬七百二十人に對比すれば人口千人に對し就學者平均四人弱にして平安南道の九人强を最多とし全羅南道一人弱を最少とす昨年の卒業者は總數五千六十八人(宗敎一、八八二)にして之れが卒業後の狀況を見るに家業に從事する者二千六百七十三人、官公署又は銀行會社等に就職する者三百九十七人、進むで上級學校に入學する者一千七百二十二人(官立學校二百四十七人、實業學校百八十九人、私立各種學校千二百八十六人)內地に留學する者二十人、其他二百二十一人、死亡三十五人なりとす

▽敎育令の普及 以上を以て前年の狀況に對比するに學校數に於て九十校(宗敎六二六)敎員數に於て九百十五人(宗敎四、六九)生徒數に於て八千九百三十二人(宗敎三、九三九)を減じたり、之を要するに私立學校は朝鮮敎育令の實施以來總督府敎育の方針に準據するの傾向を呈し來りしが大正四年私立學校規則改正の結果著々其敎科課程及び敎科書を改め普通學校、高等普通學校、女子高等普通學校等の學校の規定に準據し宗敎學校の如きも聖經の外修身の科を加ふるに至り敎員も亦講習會其他の方法に依り必要學科の學力補修に勉むるの狀況にして地方官並に公立學校長の指導誘掖に依り其內容の充實改善を來しつゝあるは本年度に於て著しく之を認むることを得たりとす

朝鮮短歌會選歌
(三點)

北へ北へ漂浪ひ行むかわたれの微光にひたり山に泣かまじ。 富士東
つくづくと撫でゝ喜ぶ瘦せし頰我ありたてしこの謀叛氣を。 朱鳥
さらさらと紙幣くる音にいつとなく貧富を思ひ涙ぐまるゝ。 象鳥
ぼんやりと外面に出ば影うつる日向のどけく春伸しにけり。 梢子
たらちねと黃泉の人を呼出でゝ枕辭すいたましの子よ。 計左淸
我生命わがたもたでぞいかにせむ餘りに我に不實なりしよ。 蝶兒
火事のごと火盛の如き心もて生きたるものよ生命ある身は。 同人
この心いかにすべけん此心いかにすべけん恐ろしくなりぬ。 くにを
雪は降る吾悲しみに雪は降る音さへ立てゝしめやかに降る。 くにを
かゝと鳴き人の淋しさ知らぬごと朝鮮からす飛にけるかも。 同人
死斯の火に哺まるもの皆背し哺まれざるもの我影にひそむ。 のぼる

京日詩壇
江原 如水

○丙辰新年 江原 如水
情同父子義君臣。如玉龍音出紫宸。遙覺雞林多雨露。微官舞蹈七迎春。
評曰 前半莊麗、後半淸穩、好箇元旦之作、

○同上 永井 鳥石
情同父子發君臣。七字吾皇發至仁。遐邇齊謳太平頌。聖恩况及布衣人。
評曰 雅頌

○丙辰新年 一番瀨聖山
旭旗影麗入新正。遙拜東天頌泰平。烏帽皓衣皆赤子。科頭露祚亦蒼生。憐他歐土風塵暗。喜我神州日月明。館蜂熙十三道。雞林草木盡欣榮。
七回迎歲在淸津。客裏風光轉眼新。窗外雪飛飄柳絮。盆中梅笑伴松筠。疏狂未厭朱門貴。靜攝常甘白屋貧。痼疾烟霞奈難治。元朝也作苦吟人。
評曰 莊重嚴純以厚、自是抒風揚雅之作、

日報俳壇
雉子郞選

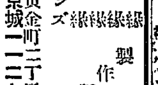
枯野
賣牛を又賣りに行く枯野哉 潮外星
芻を否めば馬すゝむなるよ枯野人 同
枯野の戶其日を謳ふ民安し 同
枯野宿夜行列車に目覺め兒 雲帝

風邪
讀み居れど皆難文字や風邪人 東村
不具な子風邪に囚はれ居りにけり 同
風邪人の倘勸め債ふ誠かな 同
父母の寵に飽て末子が風邪哉 雲帝
夜々の灯に讀む樂しき風邪哉 同
風邪藥備へて島の夫婦かな 北星
風邪の子が戒めて今日も出勤す 潮外星
風邪引くや我にやさしき繼母嬉し 山民

榾
衰へし鶏匠の庭や榾の灰 蘇水
子を敎へ無學及ばず榾の主 雨意
榾燃えてあれど人居ぬ渡しかな 山民

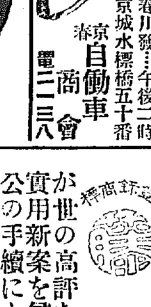
□冬の句を募る。用紙半紙、各題別紙。京城明治町二丁目九、箕井米村宛投稿の事。

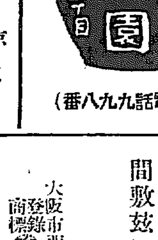
營業案內

眼鏡專門 金緣銀緣赤銅緣金張緣各種レンズ 製作販賣 京城黃金町二丁目 振替京城一二二九 宮川大學堂


東京 京城 雛人形并ニ御道具 本町一丁目 サクラヤ

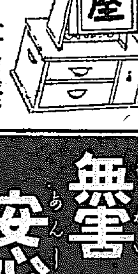
美術額椽 神代杉椽類 塗椽類 唐木椽類 金額類 舶來椽 椽止付 各種製造 京城明治町二(郵便所前) 淺田商店 寅吉

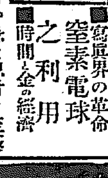
京城春川間乘合自働車 片道賃金四圓 ○京城發…午前七時 ○春川發…午後二時 京城水標橋五十番 京春自働車商會 電二三八




(電話九九八番)

水車 唐箕 製造販賣 京城本町二丁目(元曙町) 土井米吉 電話一三二六番

弊店製品は專賣特許機械應用 漆器 指物 問屋 本店 京城壽町 靜岡市 ㊄合名會社出張所 電二一七四 振京三五九


夜間撮影 電氣光線 夜寫し開始 ■寫眞界の革命 室素電球之利用 ■時間と金の經濟 晝間御用事のある方や急な思付に至極御便利 出來榮へは晝と變らず料金は低廉 京城寫眞館 南大門通三丁目 電話一〇四〇番


診察時間 自午前九時至午後六時 初診の御方は可成午前中 京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前) シメノウチ齒科醫院 電話八二二番

●特價發賣申込の好時●
銃獵之趣味 靑坡 吉村君潔著
見!銃獵の手引=多獵を希望せん人=朝鮮の獵地を知らんとする人
銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心酔して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり這は其の銃器を悉知せざるが爲なり 本書は銃器の如何なるかを說き且つ著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり 獵犬の使用と善惡を說き朝鮮の好獵地を敎へたる處始めて『スポーツマン』たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり
定價四十錢 特價金三十錢(郵稅不要)
發行所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社

陸地測量部御發行 二万五千分一 京城近傍地圖 既刊六枚 一枚金八錢
同部發行五萬分一朝鮮地圖既刊五百五十枚一枚七錢五厘送料五枚迄二錢 一切前金に限る 照會必要返信料
小林又七朝鮮出張店 龍山漢江通六 電話五二〇番

謝罪廣告
私儀貴店製造販賣に依る 消毒割箸 (登錄商標) が世の高評を博し賣行盛んなるを羨望し貴店の實用新案を侵し猶登錄商標を模擬し販賣致候爲め公の手續にも及ばるゝ處貴店の寬大なる御措置に預り候に就ては今後は誓て斯の如き行爲致す間敷茲に謹て謝罪仕候也
大阪市西區南堀江通二丁目 箸長事 中野嘉藏 印
大阪市西區南堀江上通一丁目 登錄商標 消毒割箸本舖 藤村商會殿

第三十七回帝國議會

貴族院（十八日）

貴族院は十八日午前十時開會諸般の報告後議事に入り

●日支銀行法案●
●滿洲銀行法案●

を一括して武富藏相は提案理由を說明し黒岡帶刀氏は日支銀行所在地を質し武富藏相より上海日本居留地に置くべきを答へ委員附託

●簡易生命保險法案●
●簡易生命保險特別會計法案●

右二案を一括して箕浦遞相は提案の理由を說明し鎌田榮吉氏より健康診斷を行なはざれば不健康者の加入を來し死亡率を高めん營利事業には非ざるも損失を來すことなきやと質し箕浦遞相は死亡率は内閣統計局の死亡率に更らに二割を加へたるものにして其の率高き故に獨占的なるを要すと答へ鎌田氏は更に保險金の運用方法を質し松本政府委員の答辯あり高木兼寛男も亦死亡率につき質問し松本政府委員之れに答へ委員附託

●重要物產同業組合法中改正法律案●
河野農相の說明ありて委員附託

●明治四十年法律第十一號中改正法律案●
一木内相の說明ありて委員附託

●醫師法中改正法律案●
本案は衆議院に送附しあるを以て何等の說明なく委員附託となす十一時半散會（東京特電）

衆議院（十八日）

▲東拓案委員會

十八日午前衆議院に於て東拓法中改正案委員會を開き一木内相、荒井、兒玉、藤澤、鳥居の各政府委員出席兒玉政府委員は本案改正に關する大體の說明を爲したる後森田小六郞氏（中立）は（一）東拓の制度は東印度會社の例により當時の主權を有したる韓國を經濟的に日本化するを任務とせり而して其の業務の目的は第十一條に列擧しあり會社は果して其の目的を遂行したるや否や（二）最初東拓會社の設立せらるゝや韓國政府より五千七百町步の出資を受け更に其の後多數の熟田を買收して内地人及び鮮人に小作を爲さしめ單に小作料を徵する大地主と成れるに過ぎず此の如くにして果して本事業の目的を達したるものと認むるや（三）會社設立當時にありては米國に於ける移民排斥の聲熾んにして政府に於ては滿鮮移民集中の一大政策を樹て此の大目的を遂行する爲め該會社は生れたるものなり然るに會社は唯美田を買ひ大地主となれる而已ならず然も其の土地買收は惡辣を極め日本移民が地主たらんとせば之れが先廻りをなし地價を暴騰せしめて妨害をなす等此の如くにして果して滿鮮移民集中の任務を達したるものなるや否や（四）東拓從來の移民成績によれば僅かに戶數二千五百三十七戶人口一萬一千三百餘人に過ぎず當初の理想に比すれば先づ失敗と見て可なるのみならず其の移民分配の方法も誤れり且つ移民の爲めにする補助金每年三十萬圓に對し一戶三百圓としても七十六萬圓を費せるに過ぎず殘額百六十三萬餘圓は如何に消費せしや（五）貸付總額七百七十五萬餘圓は果して確實なる用途に貸付たるや又た廻收の望みありや又其の貸付は公平に行はれたるや聞く處によれば龍山市街經營の爲め白面の一書生の口車に過らされ二十餘萬圓の貸付は全然失敗に歸し此の大部分は損失に終らんとし甚だしきは遊廓にまで投資せるなど此類の不正曖昧なる貸付は枚擧に遑あらず此の如き情實による不正の貸付をなせる重役が恬然恥を知らず殆んど王公同樣の生活をなせり又會社の營業成績は良好なりや否や既往八年間に於て土地に一千四百三十餘萬圓を固定せしめたるのみならず買收當時に比すれば地價は下落し且つ内容不正なる貸付等の爲め破綻を察せば却て負債超過を示すべく故に當面の急を救はんとして割增金債券發行を企てたるものに非ざるか要するに會社の信用は全く零にして株主は重役を信ぜず每年一回の總會に重役の狼狽委任狀取集めの醜狀見るに忍びざるものあり宜しく重役は既往の始末に對して自ら責を負て辭すべきものなるに厚顏無恥の徒自ら辭することを知らず政府は監督權の作用により何故に之れを監督せざるや設立當時に於ける柴田政府委員の說明に依れば補助繼續は六箇年位にて足る見込なるも法文には八箇年として承認を求めたるものなり然るに八箇年の補助を繼續し更に八箇年を繼續せんとす其の無定見なる實に驚かざるを得ず此の不始末に對し政府は如何に監督せんとするやとの問に對し兒玉政府委員より詳細なる答辯あり委員長は東拓に關する森田氏の質問は以上に止まらざるも姑く保留して次の通告者に讓る旨を述べ山道襄一氏（同志）の質問に入り（一）東拓會社設立當時の豫想に比すれば失敗に歸せるは明なるところ也此失敗せる會社を何時迄繼續する意思なりや寧ろ之れを全廢して將來土地財產を民間に拂ひ下ぐる時機の到達するを豫期せざるや（二）政府は尙ほ多額の驛屯土と未墾地とを所有せり將來如何に之れを處分する見込みなりや（三）營業區域を朝鮮以外に擴張せんとする方面如何其の結果滿洲銀行の業務と衝突することなきや（四）本案改正の重要事項中勸業資金の供給即ち金融部の擴張と水利事業を加へたるは同社存立の意義を爲せるものにして此の二點に對しては頗る同意を表す而して會社に對しては專ら之れが目的を主とし移民事業の如きは自然流入に委し之れを止めしむる意思なきや要するに政府に於ける移民政策に關する根本方針如何と質問し兒玉政府委員一々答辯を爲し正午散會せり

▲お土產案續出

十八日の衆議院は御土產案にて持切りのことゝて議員の出席捗々しからず午後一時半開會諸般の報告後島田議長は會期三分の一を過ぎたる後は本會議日ならずとも議長は會議を開き得る權能あれば今日も會議を開きたる次第なり今後は別段に御斷りを致さずとも眞實開會のことゝ御承知ありたしと直ちに日程に入る

●證券を以てする歲入納付に關する法律案●
加藤參政官提案理由を說明し委員附託

●理化學を研究する公益法人の國庫補助に關する法律案●
河野農相提案理由を說明し之れに對し鈴木梅四郞氏（國民）本案の趣旨には贊成なれど其の内容貧弱なり資本金及び每年度の研究費は幾何ぞと問ひ農相簡單に之れに答へ委員附託

●朝鮮の生產に係る生果核子及銅の移入稅に關する法律案●
加藤參政官の說明ありて委員附託

●特許法中改正法律案●
●實用新案法中改正法律案●
を一括して織田了氏（同志）提案理由を說明し委員附託

●砂鑛法中改正法律案●
平出喜三郞氏（中正）委員會の經過を報告し報告通り可決

●農會法中改正法律案●
川崎安之助氏（中正）の報告ありて報告通り可決

●東北六縣國有林野下戾處分に關する法律案●
半谷淸壽氏（同志）提出理由を說明し委員附託

●金玉均表彰に關する建議案●
●安房鐵道速成に關する建議案●
●地方產業資金に關する建議案●
を一括して小林勝民氏（同志）提出理由を說明し委員附託

佐藤榮右衛門氏（政友）本案は地方の金融を調節し產業の發達をなさんとするにあるも政府は本案の趣旨に副ふ上何等かの方法を講ずべしと聞くが故に撤回すと述べ案

●八代川内間鐵道速成に關する建議案●
武滿義雄氏（政友）の說明ありて委員附託

●畜產事業國庫補助に關する建議案●
山田珠一氏（同志）の說明ありて委員附託

●上越鐵道建設に關する建議案●
須藤嘉吉氏（同志）の說明ありて委員附託

●信越河東鐵道建設に關する建議案●
高島順作氏（政友）の說明ありて委員附託

●外國米輸入官營に關する建議案●
齋藤宇一郞氏（同志）の說明ありて委員附託

●神通川改修工事速成に關する建議案●
野村嘉六氏（同志）の說明ありて委員附託

●鐵道旅館增設に關する建議案●
川井爲巳氏（同志）の說明ありて委員附託

●音樂教育に關する建議案●
高野金重氏（中正）の說明ありて委員附託

●上越鐵道建設に關する建議案●
川上榮太郞氏（政友）の說明ありて前案と同一委員附託

●北海道拓殖促進に關する建議案●
中西六三郞氏（政友）の說明ありて委員附託

●農事獎勵に關する建議案●
は延期となり請願五十八件を一括して請願委員長加藤彰廉氏（公友）の報告ありて全部可決確定に決し六時散會せり（東京特電）

◉共進會の効果（承前）

鮮人視察者の感想

低級者の感想

▲共進會開催に對し智識淺薄なる鮮人に優良なる參考品を觀覽せしめ以て不急の慾望を强ひ漸時內地人勢力を扶植し鮮人を排斥するものと爲せる者あり、或は共進會開催を以て京城に於ける細民の金融を緩和せむとする策略に出づと曲解せる者あり或は共進會開會は收穫期と納稅期とを控へ農民の生活に至大なる惡影響ありたりと爲したるものあり

▲共進會場に關し瓦の破片又は古書蹟の斷片陳列に對しては眞意を解せず嘲笑したるものあり

歸鄕後の計畫事業

視察に依りて得たる智識を各自の生業に應用せしめ又は其視察に依りて得たる感想を善導し以て各種產業の改良發達及び勃興を促進せしむる爲め視察團出發前之に對し道長官又は郡守より懇切諭示する所ありたると共に其歸鄕後は視察感想の尙ほ新なるの期に際し或は各般の產業技術員を派遣し或は面長會議を利用する等出來得る限り共進會開催の効果を收むるに努めたるを以て之が爲め漸時各地に種々の事業計畫せらるゝに至る可きを疑はざるも今日迄に報告を受けたるもの左の如し

▲牙山郡 に於ては出品者たる郡吏員に於て豫め經費を概算し其出納は自ら之に任じ概算經費中一人に就き金十錢乃至十五錢を節約せしめ得たる金額を以て各觀察者の同意を得其節約金を以て共進會觀察記念植樹を爲すことゝし左の實行方法を定めたり

觀察團員は十一月中旬各三本宛の樹苗を植栽すること、但し苗は郡廳に於て購入送付に付き斡旋す可し
植栽場所は本人居住の[illegible]

▲唐津郡 より出品したる觀察者中には共進會に於て觀察したる[illegible]米穀改良の一[illegible]

▲[illegible]郡 より出たる觀察者中には[illegible]

▲連山地方金融組合 は其出品米の不良なりしを自認し米作改良の趣旨を以て明年度收穫期よりは立毛品評會坪刈品評會を開催するの計劃を爲しつゝあり

▲舒川郡 に於ては米穀肥料栽培の必要を感じたる觀察者續出し目下其栽培を準備中なり

▲論山郡 彩[illegible]面の觀覽者は農事改良の必要を感じ觀察員十八名を以て一團を組織し將來相互間の和親を保持す可きは勿論每年一回農談會を開き各自作業及び其成績の良否を批判し以て農事の改良に資することゝ爲し既に昨年十一月三日其發會式を擧げたり、又同郡江景面李河用は自己所有地田畓合計二萬坪を提供し其一部は之を協同經營となし殘り大部分は之を直營と爲し優良なる果樹蔬菜、米麥等を栽培し以て附近一般の改良資料に供することゝ及び別に水利事業を起さむことを計畫し孰れも本年より之を實行すると爲せり

歸來後著手の事業

▲舒川郡 觀察者は米穀改良を計る爲め早生神力、多摩錦及び石田の三穩種に就き明年播種用として穩選を實行したる者多數に上れり（完）

□米の群山（五）

中島生

四、背後地（承前）

群山の背後地は一大平野である、所謂全州平野、江景平野、萬頃平野と稱されるけれども、此の三平野は實は連續せるもので、全羅忠淸二道に跨がるから之を金忠平野と總稱しても可い。此平野は北は錦江及び扶餘の高地に限られ、東は雞龍山系の南走して高山、全州、井邑に達する一脈に劃せられ、南は全北道界の山地で止まり、西は海岸線及び邊山半島の山地に止まる。南北の最大直徑二十五里、東西の最大直徑十二里、概して江流の沖積土より成れる平地で、眺望涯なき所が多い。朝鮮全道其廣さに於ては之に比儔する平野は他にもあるが肥沃の程度未だ此に及ぶものはない

經濟的價値の大なる平地は多く江河の流域にある。金忠平野（此下一括に呼びたい）も亦其例に洩れず、之を貫く三江流がある、最も大なるは錦江、源を全羅慶尙二道の境なる六十嶺に發し、北流西折最も肥沃なる平野を過ぎて群山に河港を作り直ちに黄海に注ぐ延長七十里、舟楫の便多く、所在の都邑は常に江水の恩惠を受けて居る他の二江は即ち萬頃江と東津江（又扶安江）で共に全北道内に在りて何れも沃野を貫流し舟運の便に富む、此の三河は或は動脈となり或は靜脈となり、古往今來金忠の平野を養ひ來つた、斯の如くして此地方は畑地少く水田に富み、旱水害共に稀にして農產は常に平調を保ち、古來米の產地として大なる勢力を占めたのである。『湖南豐歉なれば八道の民潤ふ』と歌はれ『三南の寶庫』と稱せらるに見ても、昔より如何に此地方が重要視せられしかを知るであらう。試みに人口の密度について朝鮮全道と全北、忠南二道とを比較するに、內地人は一方里に對し全道は十九人平均であるが、而して全北は三十人、忠南は二十四人、鮮人は全道平均千九十四人なるに對し全北二千十九人、忠南千八百十八人（大正二年）で以て人口の密なるを知るであらう。以上は群山背後地の商領域に關する極めて抽象的の記述に過ぎない。而かも群山が大平野の一端に位する港灣として農產物の集散地たるに最も自然的好地位を占め、以て短日月の間に長足の進步を爲し得たる所以は能く知り得るであらう。

◉英國の輸入防遏

（三井物產京城支店への入電によれば）英國政府は三月一日以後特別の許可なくして紙類及び製紙原料其他の材料、紙卷煙草、家具、木材、堅木、石材等の輸入を禁止せりと

◉最近鐵道運輸狀況

朝鮮鐵道二月上旬に於ける營業成績の增減比較左の如し（△印減）

	本年自一月一日至二月十日	前年同期比較
乘車人員	三三、七七八人	△三、一七一人
小手荷物個數	二五、〇五三斤	△一、四五四斤
貨物噸數	三三、一一九噸	△二、〇三三噸
客車收入	三九、三二一圓	△一七、五二一圓
貨物收入	九三、三九一圓	△七、五三〇圓
總收入	八二、五八〇圓	△七、三〇〇圓
一日平均收入	一、八四〇圓	△一四九圓
▲鐵道旅館		
宿泊人員	一四一人	△一〇四人
收入	九七七圓七七錢	△五一圓六五錢
▲鐵道倉庫		
入庫噸數	三一九噸	△五九一噸
出庫噸數	三九一噸	△八一噸
收入	一〇八圓三四錢	△四八圓九九錢
▲食堂車喫茶店		
收入	一〇三〇圓〇三錢	△七圓一九錢

□天安洪州間自動車發着時刻表

一番車 午前八、三〇 天安發 同一一、〇〇 溫泉里着 午後二、〇〇 洪州著
二番車 同一一、〇〇 [illegible]
三番車 午後四、〇〇 [illegible] 但三月末日迄運轉休止
一番車 午前九、二〇 洪州發 午後一、〇〇 溫泉里着 天安著
二番車 午後二、〇〇 [illegible]
三番車 午後五、五〇 [illegible] 但溫泉里新昌新禮院間

人事消息

▲中西喜久男氏（平安農工銀行支配人）十七日夕入京不知火旅館へ

▲水谷千萬太氏（平[illegible]所長）十八日內地より歸任の途に就く

▲ワンド氏（英國實業家）十八日夕入京朝鮮ホテルへ投宿

南詰北語

日、英、露、佛、伊の各聯合國は白耳義が充分恢復する迄は戰爭は止めぬと發表した▲獨逸が内々媾和に意があると云ふ風說がある實際とすれば此の言明は獨逸の爲めには甚だ具合が惡からう▲露軍はエルゼルムを占領してメソポタミヤや波斯方面に於ける獨逸の勢力に大打擊を與へた▲[illegible]も何となく景氣付いたが此の向きなら獨逸側には先づなり相もない▲今や獨帝を救濟主だなんて持ち上げて居るのは勃牙利王一人らしいから獨帝もさぞツマラない夢が覺めて來るのだらう▲熱病でも發熱の酷い時には藥も利かぬ▲少し下りかけると藥がドン／＼利くものだ獨帝の自惚熱にも之れから陶國の下熱劑が利きだすに相違ない▲最一人世界に藥の利きにくい人が一人居る▲之れは又た御念が入つて特別に出來て居るので少々御厄介だ▲帝政熱に罹つてからと云ふものは本紙もなくなつた樣で今では三進も三進も出來なくなつて居る▲南方の軍匪や雜職へは大分出兵したが▲受けて居る男で駄法螺を吹く事は天下一品▲其の一品を今度も應用して居るから南方の戰況が明瞭しない▲北京政府は其でも好からうが動亂を[illegible]つて來るのは當然だ

朝鮮銀行第拾參期決算公告（大正四年下半季）

貸借對照表

負債: 資本金、諸積立金、銀行券發行高、政府預金、諸預リ金、支拂爲替手形、借入金、他店ヨリ借、本支店未達勘定、未拂配當金、前期繰越金、當期純益金、合計 [illegible]

資產: 政府貸上金、定期貸、通知貸、當座貸越、割引手形、荷爲替手形、買入爲替手形、別途貸付金、預ケ金、公債及社債、假拂金、所有地所建物什器、外國貨幣及手形、地金銀、新築費、合計 [illegible]

損益勘定

一金貳百貳拾參萬壹千貳百九拾八圓[illegible] 當期總益金
一金壹百七拾八萬四千壹百四拾七圓[illegible] 當期總損金
差引
金四拾四萬七千壹百五拾壹圓[illegible] 當期純益金
外
金九萬五千六百五拾七圓參拾錢 前期繰越金
合計金五拾四萬貳千八百八圓四拾[illegible]錢
內
金五萬圓 損失補塡準備金
金九千五百圓 配當平均準備金
金參萬壹千參百圓 役員賞與金及交際費
金參拾萬圓 配當金（年六分）
金五萬圓 再配當金（年壹分）
金拾萬貳千八圓四拾九錢 後期繰越金

右之通ニ候也
大正五年二月

朝鮮銀行
總裁 勝田主計
理事 水越理庸
理事 三島太郞
理事 木村雄次

前記各項ノ調査ヲ遂ゲ其正確ナルコトヲ認ム

監事 伊藤長次郞
監事 服部金太郞

京城學校組合告示第五號
一、兒童用机腰掛參百拾六脚
一、同 腰掛七百五拾貳脚
此入札保證金各自見積價格百分ノ十以上
入札者ハ滿二箇年以上斯業ニ從事シ現ニ京城學校組合區域内ニ於テ營業ヲ爲シ國稅又ハ府稅年額[illegible]以上ヲ納ムル者ニ限ル
入札心得書及契約書案並ニ見本等ハ當學校組合ニ就キ縱覽スヘシ
右請負希望者ハ來ル二月二十九日午前十一時限リ入札スヘシ此開札ハ京城府尹金谷充之ヲ擔任ス
大正五年二月十七日
京城學校組合

慶北道廳 東拓會社 御指定
旅館 加賀屋
慶北尙州 館主 大岸廣
熟練の料理番を增雇し特に御來客の待遇に注意致させ候へば何卒御愛顧の程願上候

京日案內
普通（一回前金三十錢(無割引)匿名一回每に金五錢增）
◉社員募集 數名募集 廿五歲前後の活動家 希望者本人履歷書携帶來談あれ 本町二ノ八六シンガーミシン會社 304
◉店員入用 年齡十九歲迄市内に確實保證人を要す希望者午前中に來談あれ ○京城南大門通 ▲吉永堂 393
◉求貸間 本人官吏獨身者市内に業務に非常の便宜の家の貸間を求む有無は先方の便宜に任す（姓名在社） 302
◉金儲 少資本にて一日貳圓以上收入最新發明美味有利券發送 京城東竹町八〇千歲館 福知 300
◉當地 南大門通り漢湖農工銀行隣三十坪餘望の御方は◉黃金町二丁目 喜多金光堂（電話一〇一五番） 333
▲各受驗志願用寫眞は… 高等寫眞館 黃金町二 電一四三四 ▲旅館撮影期日確實… 384
◉外交員採用 年齡廿五歲以上 希望者履歷書携帶來談○京城本町二 大正生命保險株式會社京城支部 344
◉乳母入用 身體强健のもの至急入れたし望みの方は本人來談あれ 仁川仲町二丁目 共榮社 380
◉貸家あり 別莊又は官吏向に適當な家屋 居拔の儘御相談に應ず 大和町二丁目六四 山口大助 374
◉古本品拂底に付無比高價買入 御一報次第即刻參上 ▲京城本町四 電話二七八一番へ 書肆 群書堂 315
▲[illegible]席 本町四丁目百卅三番地 川上[illegible] 380
◉古本買入 京城本町二 ▲▲御報參上 地方送金 森田文光堂書店 363
番外（一回前金六十錢(無割引)匿名一回每に金五錢增）
▲足踏 紡機に經驗ある內地人女工を募集す 京城西大門外義州通り 內外精麻社 391
▲藥湯 眺望佳絕空氣淸爽保養旁是非一度御出下さい 諸病にきゝ手輕な料理勉强致します 漢江通練兵場側（電話三一二番）▲龍山溫泉 389
▲閑靜にて眺望佳絕市內出入極便 宿料特に低廉に御相談仕候 料理仕出◉西小門町 客室淸潔取扱親切（全部電燈完備）▲下宿旅館 橫松館 電六六三 388
▲患者用寢臺車◉安全輸送が出來升 引越荷物安くて安心が出來ます 南山町三ノ卅九 電話二九三二番 堀運送社 387
◉店員募集 但し夫婦者に限る 保證人を要す店主任として採用す○京城旭町二丁目 三友商會 生蠣卸問屋 電貳貳壹六 385
◉はねつき（うちみ）くじき等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 332
◉恩給 年金類低利長期立換短期 不及保證無保險地方在住者上京に 其他擔保信用貸仕候 ○京城南大門外御成町 山口屋 338
公證人 京城永樂町二丁目十七番地 山邊勇輔 電話二八四〇番 340
◉二月十五日より 雛と人形外一切の玩具 大安賣 ○東京玩具御注文次第送附す ○京城本町二丁目 地方は ▲佐藤玩具店 373
質商 移轉廣告（元伊佐） 弊店は秘密を守り懇切丁寧を旨とし御客樣の便利を計り申候 黃金町と櫻井町一丁目大正館北横丁 櫻井町角南入る 東屋 382

貴族院別電

…が故に該法案廻付の上は同一委員に…
…二郞、本田男、東鄕男、谷森、中島…
…會を開會し理事に豐永和吉、岡田由…
…は識者は…調査研究中である…
…易に需要をみたす事は出來ない、又…
…の如きは橫濱鐵…會社、川崎造船…
…民會議の召集案法の決定を請願せり…
一、中央及び各公署の經費を悉く八割に減ずれば一ケ年…千萬元を得べし…

満州大飛行特電

第七電（十八日午後七時十分發） 特派員 勝村長平

▲機燈の光明滅、奉天城頭月白し

十八日午前撫順への長途飛行を爲し午後五時三十分より夜間飛行を行ふ機は時々點燈し壯觀を極めたり

此日軍人巡察の盛京時報閲讀を禁止す

■壯絶快絶（第八電午後八時四十分發）

午後六時より夜間飛行を行ひ十六號機及び二十七號機は奉天城頭の高空を飛ぶ時に月明かにして練兵場には目標の爲め多數の篝火を焚き壯觀を極む夜間の事とてガソリンの爆音轟々として勢き勇壯なりし

●飛行機の戰鬪偵察及び爆彈投下

偵察將校、參謀、弘中少佐の談

遼陽及び鐵嶺偵察耐寒飛行に常に機上偵察の任務に當りたる關東都督府參謀弘中步兵少佐は曾て青島攻圍軍に在り勇敢なる機上偵察を爲したる人なり語つて曰く

今回の耐寒飛行偵察は內地又は青島等とは幾つて空氣清澄の爲め雨、雪霧等の日を除けば其眺瞰視力は非常に遠方に及ぶ事を發見した現に遼陽及び鐵嶺に於ても高度

■千五百米突 以上に昇れば容易に奉天城を認める事が能きた元來機上偵察には

■双眼鏡を用ゐる事は不可能である何故かと云ふと機體の運動の爲めに振動が來るからである而し双眼鏡は殆ど必要はないと云ふのは高低遠近が自由自在であるから精確に偵察しようと思へばいくらでも敵に近寄つて行く事が能きる晴天ならば千二三百米突の高度に於て

■兵數車馬砲數 等は悉く知る事が能きるが少し死斯でもかゝつて居る際又は曇天雨天日沒後日出前等に於ては五百乃至二百米突位まで下らなければ成らぬ事もある斯樣の際には敵は盛んに狙擊するに相違ない併し割合に當らぬものである殊に千米突以上になれば

■小銃彈は最早 絶對に當らないが砲彈は命中する例が少くない現に青島戰でも私の乘つた飛行機は二個の彈子を受けた、今後漸次高空射擊砲が進步發達するに從つて飛行偵察も大いに其の方法を改めなければならぬ

■即ち機と人と を損じない爲めに一度に詳細の偵察を爲さず大速力を以て何回も大旋回を爲して

■敵の頭上を 飛行して偵察の目的を達するの外に道はない、爆彈の投下は

■三角術を應用 したる斜線を以て遙かに前方に在る目的物に向つて投下するのであつて日本の投下彈は現在の處野砲彈位の威力は確かにある筈である爆彈は最初は

■手で投下した が今は坐乘搭機の兩舷に突出でたる箱に各三個宛の爆彈が容れてあつて觀測投下者は後方からヒンを抜けば一つ宛爆彈が落ちる樣になつて有るが二つ以上乃至

■六個一度に落 すとも能きる敵に砲擊又は自分の投下した爆彈の炸裂する音響はプロペラーの音響の爲め少しも聞えない、たゞ砲の射擊及び破裂は煙に由つて認められるのと近い處で

■砲彈が破裂す ると空氣の波動に由つて甚だしく機體に動搖する此の際は彈片は當らないとしても餘程危險を感ずる今の處では操縱者は前方に在つて偵察者は後方に居るが私の考へでは將來どうしても偵察者が前方に在つて

■操縱者が後方 に在り偵察者より其の方向其他の指揮を容易ならしめる必要があり且つ前方は風受けが有るので後方よりも報告を書き地圖を廣げて見るのに好都合である

●はら〳〵と散る氷の華

評判になつた奉天の日本婦人の耐寒力

▽▽白銀の森 比較的暖かな夜の濕氣は明け方の寒氣を受けて地上の在りと有ゆる者の表面に凝結するその氷の華は朝日が昇つて後も三四十分位は解けも散りも爲ないしかし風が吹くと春暮れ方の櫻の樣に極めて脆くホロ〳〵と散つて行く此の氷の華は森の梢に凝結したのが最も綺麗であつてお伽噺にでも有りさうな名であるが白銀の森とでも稱すべきであらう

▽▽立方式腕車 奉天の腕車は實に奇妙な格合をして居るゴム輪で有るが輪が非常に小さいので車の高さは地上から二尺ばかりで其の代り轅が馬鹿に長いから車夫は棒立ちに成つて引いて居る乘心地は大變に宜ろしい凸凹道を走つても絶對に轉覆しない形は車體は何處までも方形式で少しも丸味がない乘席は箱形で轅まで四角棒だから面白い

▽▽强い日本女 日本女の强い事は格別のものである男は襯衣の二三枚も重ねた上に裏毛のズボン下毛皮帽子に手袋防寒毛靴長外套を著けてブル〳〵震へて居るのに引換へ女はお洒落の薄綿入れ（中には袷も多い）一枚に襦袢長襦袢腰卷の二三枚に金巾の薄足袋ベールのやうな薄絹のショールで脛に寒い風を當て平氣で歩いて居るコレには支那人も露西亞人も驚いて居る『寒い事を知らぬ日本娘』と有名なものだ

▽▽心細い番兵 北陵へ行くと陵の附近に嚴重に番兵が付いて居るこれは妄に陵內へ立入らせぬ爲めであるが其の目的の多くは古代の陶瓦や何にかを盜まれぬ爲めである處が番兵が頻りに瓦を買へ〳〵と勸めて草の中へ匿して置く瓦やら拜殿の金具類などを持ち出して來るが馬鹿に高い事を云ふので一寸手が付けられぬ

▽▽狹い馬鐵 奉天停車場から城內まで日支合辦の馬車公司の馬車が通じて居る何處の馬鐵でも電車でも汽車でも大抵はレールよりも車體の方が廣いのが普通であるが奉天の馬鐵は車體よりもレールの方が廣いから後から見て居ると家鴨が足を蹴げて駆けつて居るような態だ

▽▽小便の山 大變尾籠な話であるが奉天の共同便所は何處も彼も小便の山で有る下から段々に凍つた上に氷るので高さは腰のあたりまで來る時々長柄の鑿を以て缺ぎ取りに來るのであるさうだ

●丸髷會の盛んな前景氣

熱心な稽古の功 今夜から壽座

白耳義同情の大旆を掲げた料理店置屋連中の女將芝居の丸髷會は前景氣素晴しく各棧敷とも殆んど

◇賣切の盛況 だが愈々十九日に蓋を開け二日間暴れ廻る事となつたので十八日の午前十一時頃から壽座で總浚ひを演つた、總浚ひといつても衣裳假髮が間に合はず素のまゝで演るの餘儀なきに至つたがそれでも

◇床が入つて 極り〳〵にツケを打したので大分氣が入つてると同時によく舞臺にもついてゐた、僕が觀たのは二十四孝香焚場（富美の家の勝賴、花房の八重垣姬、辰中の濡衣、喜久家の謙信、鍋道樂の白須賀六郎）と

◇鬪取千兩幟 猪名川家の場（鍋道樂の猪名川、喜久家の鐵ケ嶽、辰中の女房おとわ）だつたが熱心に稽古の功は嬉しいもので仕科にこそ些少の難はあれ、臺辭に調子外れのところもなく絶句などの滅多になかつたのは何よりだつた、唯

◇臺辭の調子 が一體に低い樣だが本舞臺にかけたらこれも治るだらう、香焚場では美しい八重垣姬口跡のよく通る濡衣、落ついた勝賴等それ〴〵特長があり謙信、白須賀六郎に至つては樂さうだつた、千兩幟では猪名川と

◇鐵ケ嶽の捫 がよく攄ひ、兩人連立つての揚幕から花道にかゝる邊り堂々たるものだ、兩人の呼吸もしつくり合つて立派なものだつた鳥渡憎まれ口を叩いて置けば愁ひが利かぬのと引込みに

◇氣を拔く事 些し急ぎ込む事などだが稽古場ではあり無理がないとも謂へる、何んと言つても素人芝居と言つても二三人、可なり心得たのがある事とてすべての場面が引締つてゐるのは何よりだ、廣島から

◇態々取寄せ た衣裳、明治屋から特に此會に贈つた緞帳などと俟つて觀ものだらうと言つておく（大阪扶師）

丸髷會の總浚ひ 鬪取千兩幟＝猪名川家の場（鍋道樂の猪名川、喜久家の鐵ケ嶽、辰中のおとわ）

喜久家女將の鐵ケ嶽

●不審の米船

獨逸軍需品積込乎

米國北太平洋汽船會社所有汽船ユカタン號（三五二五噸）は桑港を發し去る二日神戶經由門司に入港燃料積込の上三日發上海に向ひたるが十八日再び門司に入港神戶に向ふ豫定也而して同船は開戰以來獨逸が上海方面にて買收せる多額の軍需品を積込の爲め獨逸官憲より派遣されたるもの、如く十八日門司入港に際し取調を爲すべく同日朝吳鎭守府參謀海軍中佐福與平三郎氏主理監見茂十氏等來門同船の入港を待居り（門司特電）

●染太夫死去す

關西淨瑠璃界の耆宿竹本染太夫は病氣にて十七日夜死去せり二十日葬儀を執行すべし（大阪特電）

●本夫毒殺處刑

江原道原州郡本部面安圭昌（三十）同郡建登面李學先妻吳姓女（二十）の兩名は明治四十三年舊十一月より慇懃を通じ其結果本夫李學先を殺害せんと共謀し四十四年舊二月十五日吳姓女は硝酸ストリキニーネを食物中に混入し本夫に侑めたるに學先は同二十日死亡し遂に發覺して取調中のところ此程京城地方法院に於て安圭昌吳姓女の兩名は無期懲役の處刑を受たり

妓生になるまで

四 春や行きし 今は今振りの勤

春や一度めぐり來るとあへない望みを抱いて過す間に彼等の容色は槿花一朝の榮の如く夢に過ぎ、何方を顧るばかりになるのが彼等が持つて居る處の多くの運命である、さうしてもたゞ嘲笑と惡罵とが迎へて呉れる彼等は方物賣（小間物）などに落ちて昔の華美の面影は何處へやら破れ布子に破れ草鞋を穿いて寒風荒む市街を徘徊して僅かに口を糊するか又は色酒家に淫を鬻ぐに至るのが普通である斯うなると□彼等に取つて唯一の慰し者は故鄕である北鮮の山と老ひ行く父母である、親族である、無心の小供心に眺めた山や川である、春知り初めて身を寄せて泣いた木である、悲慘の結果を齎らすべき出世の門出を送つて呉れた門の小川の流れである、故鄕共に唄ひ習つた小鳥である——故鄕戀しい!!矢の如うな望鄕心は彼等を驅つて一目散に其の鄕里に引還へさしめる——しかし彼が戀しがつた故鄕は決して彼を戀しとも思はねば憂もしもしない、女盛りを過ぎて勤め上りの彼は遂に鄕黨から爪彈きされて彼の心が眞面目に立歸つて居るにも拘らず

無賴の徒の蔑さみ者になつて無慘な一生を送るものもある、彼等の榮華は暗にほのめく電よりも果敢なく消える譬である。たゞに其の榮華の日の短かきばかりか、其の終りは甚だしく悲慘である。高く咲き誇つた木蓮華が盛りも過ぎないのに泥に落ちて、獸の類に蹂躪される樣な悲しい運命である。斯る悲慘の例のみ多き妓生の志願者が何時の世に成つても絶えないのは□朝に虚榮の望み充たさば夕に慘死するとも悔ひないと云ふ淺はかな女心と一つは娘を喰べようとする親心とが絶えないからであらう。今の妓生は昔のそれとは全く異り殆ど日本の藝妓と異る處はない。昔は妓生は宴に招かれても決して値の定つた纏頭は要求しなかつた。さうして招いた者は其の翌日數百乃至數千兩（韓貨）の謝儀をする。甚だ不廉であつて容易に妓生を招ぶ事の出來なかつたのは之れを見ても分る。其の之れに馴れ之れを弄んだ者が多く官吏であつて萬金を散じたものである、是れ百姓萬民より誅求した金であつて確に弊政の一因をも爲して居つた

物思ひ 春めいて來た日午後の光線を浴びて

□蘭姬は今の妓生である。日本式線香式の妓生として現はれた

京城には古くからある妓生房を改めた廣橋と、新らしく組織された茶洞の二つの妓生組合がある妓生は各百人ばかり居る。此の組合は新らしく券番とも云はれて居るが、とはいへ、其の生活は內地の藝妓とは大分異つて居る點がある。

◎花園町の猩紅熱 京城花園町百二十八番地佐々木土佐生（八）は十五日發病十八日診斷の結果猩紅熱と決定し早速入院したるが同人は櫻井小學校の一年生なるより十八日同校も大消毒をなしたり

◎旭翠演奏會 旭翠會にては十九日（土曜日）午後六時より若草町曹洞宗別院に於て演奏會を催す由

◎鐵道倶樂部家族會 龍山鐵道倶樂部にては十九日夜局員家族娛樂會を催はし山木松子、本多燕左衞門の講談會ある筈なり

◎本町署の醫生召集 京城本町警察署にては十八日管內居住の醫生約五十名を召集し午前九時より構內演武場に於て佐藤警務課長より腸窒扶斯に關する諸注意及び佐藤衞生主任警部より一場の訓示あり正午散會せり

東京商工學校

神田中猿樂町五（規則書要郵券） 電本二七〇六

豫科 本科 入學資格 修業年限

▲商業部豫科一、二、三期 ▲工業部豫科一、二、三期
▲商業一期二期 ▲土木一期二期 ▲電氣一期二期
▲工業化學一期二期 ▲電氣商等科て簡易商業科一、二、三期 組

小學卒業生は無試驗にて豫科一期に入學を許す
中學卒業生は無試驗にて本科一期に入學を許す
豫科一年半、本科一年、電氣商等科一年
簡易商業科二年（小學卒業生無試驗にて入學を許す）

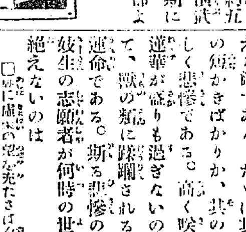
校長 山下谷次

顧問 松崎法學博士 武笠工學博士

講師
井上工學士 伊藤工學士 飯田商學士 早川法學士 橋本講師 新田講師 寶來工學士 服部工學士 小野工學士 大竹講師
大戶講師 渡部商學士 渡邊講師 川邊商學士 川地工學士 笠原講師 狩野工學士 田崎工學士 田賀工學士 武田講師
鷹野講師 村島工學士 內山講師 上岡工學士 松川工學士 松岡講師 眞島法學士 福崎工學士 藤原講師 藤野文學士
小林工學士 小早川講師 小池講師 後藤工學士 安藤講師 坂崎講師 木下工學士 島田講師 森講師 杉井工學士

新學期 二十一回 四月三日開始

陰萎にゴスペル Gospel



本劑は肉體の營養强健を主眼とせる植物性補腎壯新劑にして其主效は生殖器神經に作用し左記生殖器障害に實試上有力なる陰萎增勢藥なれば今直ちに用ひよ！一回の用量僅に一錠

適應症（神經衰弱性陰萎●精神的陰萎●衰弱性射精早漏●遺精●夢精）

（藥價）九錠入金壹圓●卅一錠入金貳圓●六十三錠入五圓 五拾錢●百廿六錠入金拾圓●送藥御申越は凡て金即到着 封郵送す●送料拾錢を要す●代金引替は謝絶

發賣 東京市下谷區長者町一ノ角 振替一三九五七、電下五九六六 竹島製劑所
特約 東京兩國米澤町角 振替三三〇六、電浪一一三八 吉田萬珠堂

運の善くなる話

▲如何なる不運者も ▲必ず開運が出來る

人は智惠と力と學問がどれ程あつても運が惡ければ生涯埋れ木で終らねばならぬ、若し衣食住の差支があるとか或は云ふにも言へぬ心配事があるとか又は家庭の內に悲しいとがあるこかでは折角生れて來た甲斐が無い、乃て心配と苦勞の種を打切て安樂の境遇に變度い人は是非共運を善せねばならぬ

■世に不思議の開運法 如何に心配と苦勞とで持ち切て居る薄運者でも決して不運と諦めるには及ばぬ、其の人〳〵に由て必ず一道の光明が備はつて居る故におみくじや占ひに迷て苦しむで居る用は無い速に本會の天眞學講義錄を讀さへすれば忽ち成程と合點が行くのである殊に本年は人の運命が善惡共に極端に走ると云ふ

■極て恐るべき年廻り であるが我が開運の實行には實は願ふても無き好都合の年である講義錄は總假名付き女子供にも解る見本の見度い人は

東京芝區宇田川町十六 日本天眞學會 電話芝二五六四番 振替東京二八七四六

へ此の新聞名を書いてハガキで申込めば無代で急送する見本を見たのみでも幾分か分る會費は一ケ月三十錢六ケ月終了

閣は委員……下兼議院に於て審議中なる東拓法改正委員に附託せり委員は柳澤……案と其關係を有するものと信ずる 松平直平、水野子、後藤男、大野圭……

……取引所役員引責總辭職と補缺選……爲め十八日午後臨時株主總……

……諸工業の勃興に伴うて鐵類の需要はます〳〵旺んで之れが補給について……海運界の狀態では船腹不足の爲め容……のはない、最近大阪の安治川鐵工所……

●憲法速定請願 ……段奉天將軍は……を鎭撫する爲め……

……袁總統は某大官の建議に基き左の如き財源捻出案を財政部に交付せり
一、……を得……兼職俸を全廢すべし

千生瓢（128）

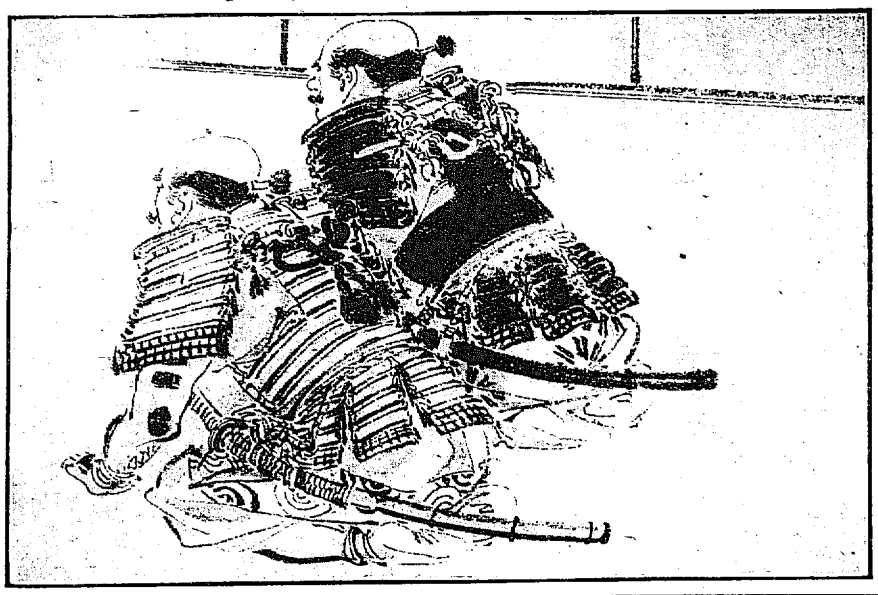
須藤南翠作　筒井年峰畫

杜鵑一聲（八）

『淺井の家名を興すには、乙姫二人までおざりまする。ねゝは何處までも、母上のお供仕ります』

ねゝ姫は深く決した所あつて、更に勝家に抗辯した。勝家は涙にかすむ眼を以て、憐れむようにねゝを覗たまゝ、また口を開かなかつた。

『おねゝ、何言やる』小谷の方は靜に口を開いた。



『母は殿の御供して、何處までも御給仕申すが、妻たる者の務めぢやに依つて、御情深い御詞をも郤け申した。母と其もじとは間柄が違ふ。其もじは母に連れられて、この北の庄に寄食人になつたまでぢや、倶に死ぬる務めはない。殊には絶えたる淺井の家名を、再興の義務ある身、二人の妹姫が杖ともなり、柱ともなつて、成人の後を計らふ身ぢや。輕々しう死んでは、亡き父上に不孝おぢやるぞ。一旦武道の意地には、敵味方と立ち別れても、故右大臣殿は涙ある大將、其もじ等が成人を待つてやがては淺井の家を興させ、名家の跡を繼がさうと思された事は、其もじ等を母に添へて、別て賴み思された。柴田殿に預けられたので、能う知れてある。必ず〳〵一旦の義に勇んで、短慮ばしし給ふなよ。其もじ達が存命へて在ればこそ、母も安堵して生害はすれ、同じ枕に死ぬと知つては、何で目が瞑されやう。其心を飜へしてたべ。母が詞を聽き分けてたべ。のうおねゝ』

小谷の方は情を以てかき口說いた。分別顏はするものゝ、おねゝ姫はまだ三五の、月花に憧憬るゝ身の、深き所存の定まるべき。母上に口說かれて、心のやゝ動く所に、文荷齋に諫められて、今は言ひ釋く詞とても知らなかつた。

勝家は情に輝く眼を開いて

『おねゝ殿、母上の申さるゝ所、文荷齋が申し上ぐる所、能く合點致されたか、若し今卿に別るゝ事あらば、お初殿も、お達殿も、誰を恃みに成人せられうぞ。姉君を見倣うて、倶に生害せられたら、天下の中に淺井の血統は絶え申さうぞ。死ぬる事はいつでも能きる。生て世に在る苦を恐れぬこそ、誠の人とは申さうずれ。喃、今は一念を飜へして、母上に安心させられい。喃』と說き諭した。

おねゝ姫も今はとて辭ふべき術もなかつた。泣く〳〵一命を全うして妹達を保護し、敵の陣所へ參るべしと對へたのであつた。勝家は悅んだ。

『其でこそ淺井郡の領主の姫ぢや。卿は今早速使者を申し付けう程に、疾う〳〵支度を急がれい』と言つて直に富永新六郎、奥村九郎二郎の兩人を呼び出した。

文荷齋が次に立つて、兩人を伴ふて見參に入れると、勝家は近く呼び寄せて

『新六郎も九郎次郎も、筑前守見識の者ぢやに依つて、大事の使者を申し付くる、相違なく相勸めうぞ』

『はツ、先づ御使者の役義、仰せ渡させられい。必ず相勸めまするでおざりまする』

『早速の承知忝ない、其方兩人、此れに居る淺井の姫達三人の供をして、筑前守本陣に參り、筑前守に對面して申さうには、勝家は城と運命を共にせんと存ずるが、此姫君は故右大臣殿の御姪、故備前守の姬おざる、城中に留めて落城の烟とする事いかにも情なく存ずるまゝ、貴殿の許に差進ずる、貴殿固より主家の姬に對して、如才を存ずべき筈なしと存ずるに依つて、然るべく賴み存ずる旨、慇度申し通ずるやうに』

『身に負はぬ大役おざれど、一命に代へて、喃九郎次郎』

『おゝ、首尾よく相勸めるでおざりませう』と兩人は確實に御受けをした。

一時を經ぬ間に、三挺の女輿輸は一隊の兵に守護せられて、北之庄の搦手を出た、小簾を洩るゝ衣の色は心の朱を燃るばかりに染めてゐた。前後を守護する富永、奥村は、敵中を乘り打ちして、敢然として秀吉の本陣に馬を進めた。

募集短文

蒔繪の櫛

平北　遠藤　因花

四五日前に降つた雪はそれでもまだ解けなかつた午後の黃ろい日は果てもなく廣ろごつた田や畑の雪に流れて梟の落ちた木は痩せた黝ずんだ姿を雪の上に落してゐた。緣に出て小犬と戲れるにも倦いた政雄は今年四つになつた綾子の足袋を紅いネルで縫つてゐる世帶くづれのした叔母さんの傍で取り止めもない事に思ひ耽つた。彼はこの間前に叔母さんの言つたことをいつか思ひ出してゐた

『政雄さん、これでも前は二圓近い櫛だつたんでしたよ今はもうこんなに蒔繪が剝げて仕舞つたけれど……』

何かの序に出した櫛を三十を少し越えた女としては短かい毛を無雜作に束ねた頭に指して笑つてゐた『叔母さん』は何んとも思つてゐない！櫛の蒔繪が剝げた丈！きつとかう思つてゐるのに異ひない……』かう思ふとあの眞紅に咲く西洋花の花瓣の樣な厚ぼツたい戀にひかれるにはあまりに心の色調の黝ずんだ叔母さんが彼れには物足りない樣に思はれた『蒔繪の金が剝げたのに似た女！』……それが叔母さんの樣に思はれてならなかつた。さうして『華やかな町』に居る暫くの間別れてゐなければならない照子の事を政雄は思ひ出してゐた。——（二月十五日）——

隨鷗吟社第百十三回例會

七言絶句聯句（二月十三日於上田三宜亭）

春淺東臺未覺暄　飯田鷺萃　同人呼酒會梅軒　池田蘿陰
醉將熟詩不就　蓉の井柳堂　花氣微浮絲一樹　關澤龍麓
好晴連日減餘寒　世良敦亭　無復梅花袖手看　岩淡淡川
一例美人猶擁被　飯塚碧南　似聽鶯語近欄干　土居擧坡
茅齋春暖竹爲關　田村北山　關外梅花破笑顏　石崎蓁園
知是高人詩書處　入江翠是　一巒白鶴似孤山　谷本櫻谷
春麗東臺二月天　上村賓碩　鶯花禰句待招延　三野愛石
衣香鬢影人如織　杉田蝶山　湖上垂楊漸帶煙　岡田松東
春水溶溶浸石橋　濱田德軒　東風吹柳上新條　三浦英圃
三宜亭子詩幽約　岡見鐵江　不使吟壇付寂寥　渡邊南樹

東京其角堂機一宗匠選

東京九十會第一回選句

朧の音に亂れて走る節かな　雙山
眞の戶の波郎なり朝千鳥　水戶　水坊
飢ゑの悲しき聲や藪の鶯　一笑
鶯の里家飛々に明けにけり　圓洲
兄弟の兎角爭ふ炬燵かな　楓亭
山か拔く力も失せて炬燵かな　水戶　水坊
人目引く店の飾りや年の暮　保々
年の暮人と生れて悔多し　水戶　水坊
山茶花ハ垣根床しき棲へかな　逸郎
山茶花や圓秀畫家の侘住居　圓洲
山茶花や世を拗者の獨り住　水戶　水坊
千鳥ぞと知らるゝ闇の羽音哉　木水
水浴る人さへあるに炬燵哉　保々
郎見れば靜に遊ぶ千鳥哉
人地大軸　選者

新刊紹介

▲朝鮮寫眞畫報（二月號）　朝鮮唯一の寫眞畫報たる本誌は、其後益々改良發展して、毎號朝鮮及び滿洲方面に於ける面白き寫眞を滿載せるが、二月號はまた南大門驛御通過の閑院太公殿下を始め、李王殿下より聚上閣下へ献上の花瓶、スター博士、旭町大火の實況等京城を中心とせる時事問題の寫眞も勘なからず、蓋し朝鮮を知るに最も便利なる寫眞畫報なり（一冊三十錢京城大和町一丁目朝鮮寫眞通信社發行）

▲德川時代史（下）　本書は大日本時代史中の一編にして元修史局編輯官池田晃淵氏の著す處五代將軍綱吉の時代より十一代將軍家齊の治政、德川幕府の權威失墜に及ぶ。書中の綱吉の好學と學問の流行、赤穗義士の快擧、犬族保護の惡政、貨幣の鑄造、新井白石の登用と幣政改革、家宣の朝廷尊崇、吉宗の勵精、幕府の全盛期たる家齊の治世と松平定信、王政復古論の勃興さ竹內式部山縣大貳、露人の北海亂暴と英船の長崎闖入、室山、長英、崋山等の奇禍、將軍の撤廢と水戶齊昭の譴責等、何れも異常代の大事件なるが本書は正確なる史料に據りて逸話佚聞をも博搜して其眞相を紙上に躍如たらしめたり（非賣品東京市牛込區早稻田大學出版部）

▲禪心錄（物庵居士）　物庵居士とは理學博士近重眞澄氏の雅名、如何に化學者とは言へよくも化けたりさの梨庵谷本富博士の跋文及び著者の說明もある如く風變りの博士が或は禪を論じ或は禪的眼光にて社會を見人を見たるスケッチあり、禪味津々たるものあり（定價金九十錢東京市牛込區神樂町一丁目東亞堂）

▲日本之關門（第一號）　發刊の綱領に「革命的實業界の潮流に航し目的の彼岸に進せん」と云ひ「鎖國を撤して天下に開放するは其特色なり」と云ふ（每月一回一冊二十錢下關市東南部町一四七關門社出版部發行）

▲日本一（二月號）　日本一の問題（志賀重昂）を卷頭に中野武營、浮田和民の政治、經濟談あると思へば痴遊の講談井上侯聯恩旅行があり和田垣博士の意外錄あり駿天仇、王統一兩氏の支那問題談あり黑岡市の人物評各新聞、關大學教授の路易陶沙問題あり興味津々正に日本一に恥ぢかしぬ編輯振りなり（定價金十錢東京市牛込、神樂坂通南北社）

▲岩見武勇傳、笹野名槍傳　桃李の口演した岩見重太郎と槍の權三の長篇講談にて坦縫の中の好讀物なり（定價金卅錢東京市日本橋區本町三の八博文館）

第三版　商況

大阪三品　寄付 一三三八　高値 一三四八　安値 一三三三　止め 一三四八

▲取組高値加す

○ミツワ石鹼

凡そ石鹼は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹼たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。皮脂の分秘量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

○ミツワ石鹼は化學上の純石驗たるのみならずなほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。
一、溫雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹼なり

擔任技師　工學士 藤野太治郎　工學士 越智圭一郎

▲賣捌＝全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舗。洋酒食料品店

本舖　ミツワ石鹼　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　肝油ドロップス　御園化粧品

發賣元　登錄商號　丸見屋商店

東京市日本橋區橘町四丁目　藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋

電信略號（○ミヤ）　振替口座東京七一〇〇番　電話浪花三〇九八番　營業部電話浪花四四四五番

尼崎汽船仁川出帆

○群山木浦釜山下關神戶大阪行
秀吉丸　二月廿六日後四時出帆
大有丸　二月　日後四時出帆
神代丸　二月廿　日後四時出帆
蛟龍丸　二月廿四日後四時出帆
君が代丸　月　日後四時出帆
仁川海岸通一丁目　電話五十九番　商杉回漕部

朝鮮郵船 出帆

本社 電話長一九五二番二三　鐵道及其外船と聯客運帶輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會あれ
京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店（電話一二七）

全羅丸 三月三日　京畿丸 二月廿二日　黃海丸 三月七日　成鏡丸 二月廿六日　釜山發　門司より各港寄港雄基行
穩城丸 二月廿三日　昌平丸 二月廿一日　鏡城丸 二月廿七日　元山發　元山より各港經由雄基行
永興丸 每月廿八回 元山發　北久味、五里浦行 又は長崎延長
咸德丸 二月廿一日 釜山發　竹浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
江陵丸　義陽丸　每日（釜山浦項）發　長生浦、方魚津寄港
三浦丸 二月二十日 釜山發　長承浦、巨文島、濟州島寄港
海州丸　巨濟丸　統營丸　慶寶丸　每日 釜山發　各港經由麗水行（三日目一回木浦行）
順天丸 三日目每 木浦發　各港經由麗水行より群山行
慶興丸 二月廿五日 木浦發　各港經由濟州島行（四回）
公州丸 二月廿一日 木浦發　南多島海列島行（月三回）
公州丸 二月廿二日 木浦發　各港經由濟州島行（東廻）
全州丸 二月十九日 仁川發　海州他各港經由、德洞又は白翎島行
江原丸 二月廿四日 仁川發　芝罘、大連、青島行
麗水丸 二月廿七日　晉州丸 二月廿二日 仁川發　各港經由木浦行
錦江丸　南陽丸 每日午前 仁川發　江華島、桐西島、海州行
平安丸 二月廿三日 群山發　二月廿七日 若松發　往航 大黑山、水浦、門司、若松行　復航 門司、一木浦、群山行

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行　文神丸　二月　日後五時出帆
○元山清津浦鹽行　立神丸　二月　日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　小倉丸　二月　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　二月　日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　二月十九日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　二月　日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天眞丸　毎月二日九日十六日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山海岸通 本船取扱店　大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

朝鮮沿岸及青島、大連行　第六共同丸　二月廿　日後二時入港　二月廿二日前九時出帆
朝鮮沿道各主要港にて貨客運送の外大連にて青島行定期船に接續し同額運賃にて通し輸送取扱可仕候
城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　第一阪鶴丸　月　日後九時出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行　第三□□丸（元山出帆）　月　日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目（電話一〇八番）　仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　南大門電話（二一六八、二〇一七）　河村運送店

●長江防備調査